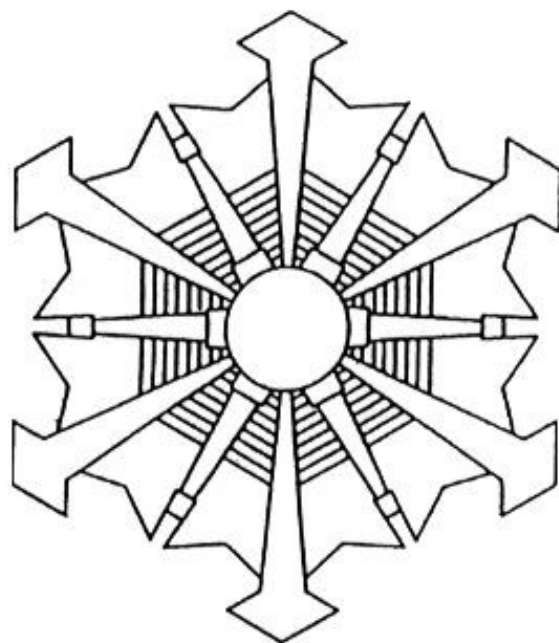


平成 2 3 年版（平成 2 2 年度）

消 防 年 報



消したはず 決めつけしないで もう一度
【平成 2 3 年度 統一防火標語】



茅ヶ崎市消防本部

「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言」

茅ヶ崎市は1962年12月19日世界人類共通の願いである真の恒久平和を希求し、その実現に努めるため平和都市宣言を行った。

しかるに地球上では今なお核兵器の増強はとどまることなく、全人類の生存に深刻な脅威をあたえている。

よって、再び全市民の名において次の宣言をする。

日本国憲法に基づき国是である非核三原則を遵守する国とともに、地球上のすべての自然を破壊し、全人類を滅亡させるにたるあらゆる国の核兵器の使用を全面禁止する。国際世論を喚起するため、茅ヶ崎市はここに核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。

1985年12月24日 茅ヶ崎市



市の木・アカシア
(昭和47年10月1日制定)



市の花・つつじ
(昭和47年10月1日制定)



市の鳥・シジュウカラ
(平成9年10月1日制定)

表紙の



は茅ヶ崎市章です。

「チガサキ」の「チ」を図案化した円形は、市の融和と団結をあらわし、翼状平行線は市勢の飛躍、発展を象徴しています。

市 民 憲 章

美しい海
きれいな空気
おだやかな四季

私たちは、このめぐまれた自然に感謝しながら、未来へ力強くはばたくための愛市憲章をここにさだめます。

- 1．美しい自然は、私たちみんなの誇りです。
 - 1．私たちは、元気で仲良く、きょうも働きます。
 - 1．私たちは、きまりを守り、安全で住みよいまちづくりにはげみます。
 - 1．私たちは、文化の花咲く、明るい平和なまちをきづきます。
 - 1．老いも若きも手を取りあって、輝かしい明日へむかって前進しましょう。
- (昭和42年10月1日制定)



浜 降 祭

(平成23年7月18日：海の日)

目 次

目で見る消防統計	7
消防のあゆみ	8
歴代消防長	1 6
叙位・叙勲者	1 7
消防の機構	2 0
市の概要	2 1
消防分布図	2 2
総 務	
消防費	
予算	2 5
市総予算との比較	2 5
市決算との比較	2 5
人口との比較(予算)	2 5
消防力の現有	
消防職員の定員・実員	2 6
消防職員の割合	2 6
署所	2 6
消防車両(常備)	2 6
消防職員	
階級別年齢別消防職員構成表	2 7
階級別勤続年数別消防職員構成表	2 8
消防職員年度別公務災害発生状況	2 8
研修等派遣状況	2 9
消防庁舎概要	3 0
消防職員の年度別条例定数及び実員	3 2
予 防	
立入検査実施状況	3 5
防火管理者選任状況	3 6
届 出	
届出状況	3 6
届出状況(予防課・指導課)	3 7
訓練用品貸出状況	3 7
貸出用品	3 8
平成 22 年度防火ポスター・作文コンクール	3 9
建 築	
特殊建築物確認申請月別	4 2
特殊建築物確認申請用途別	4 2
一般建築物確認申請月別	4 3
中高層・地下建築物用途別(棟)	4 3
危険物	

倍数別危険物施設	4 4
類別危険物施設	4 4
危険物申請手数料収入状況	4 5
警 防	
開発事業	
開発協議に関する事項	4 9
水 利	
消防水利設置数（公設・私設）	5 0
公設消火栓現有数	5 1
公設防火水槽現有数	5 1
車両配置別内訳	5 2
車両別内訳（常備）	5 2
通 信	5 3
主な消防用資機材一覧	5 4
防災対策	
広域避難場所・避難所位置図	
避難所	5 7
災害用耐震性プール・飲料水兼用貯水槽	5 8
防災無線	5 8
防災備蓄倉庫	5 8
研修・訓練	
年度訓練種別	5 9
曜日別実施状況	5 9
地震対策	
地震対策用街頭消火器設置状況	5 9
自主防災組織	
各連合会地域内自主防災組織	6 0
年間降水量	
降水量、5 0 mm以上の降水量を記録した日	6 1
消防団	
消防団のあゆみ	6 5
歴代消防団長	6 8
消防団員叙位・叙勲者	6 8
消防団の概要	
団員数とポンプ・車両数	7 0
車両別内訳（非常備）	7 1
分団器具置場所在地	7 2
災害出動	7 3
勤続年数	7 3
報酬額	7 4
費用弁償額	7 4

研修・訓練	7 4
退団者	7 4
年齢	7 5
職業	7 5
団の定数・実員	7 6
防災資器材	7 7
火災・救急救助統計	
火災統計	
用語の意義	8 1
火災件数	8 3
火災損害額	8 3
出火原因別件数	8 3
死傷者数	8 3
管区別火災発生状況	8 4
火災件数月別内訳	8 5
初期消火器具使用状況	8 5
火災統計概要（過去 1 0 年間）	8 6
1 1 9 番通報受付記録	8 7
救急救助統計	
救急活動	9 1
用語の意義	9 1
過去 5 年間の救急出動状況	9 1
事故種別・年齢別搬送人員	9 2
傷病程度別・事故種別搬送人員	9 2
事故種別・発生場所別搬送人員	9 2
月別出動状況	9 3
曜日別救急出動件数	9 3
救急隊員の行った応急処置件数	9 3
市内・市外病（医）院搬送状況（人員）	9 3
事故種別不搬送理由	9 4
救急支援出動状況	9 4
救助出動	9 4
水難事故出動状況（過去 5 年間）	9 4
救命講習会	
普通救命講習会実施状況	9 5
上級救命講習会・応急手当普及員養成講習会実施状況	9 5
A E D（自動体外式除細動器）	9 5
A E D設置施設一覧	9 6
茅ヶ崎市応急手当普及協会	9 7

目で見える消防統計



平成23年度

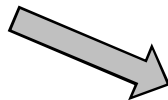
予算（消防）
22億 7,767万 4,000円
市民一人あたり
9,675円

平成23年4月1日

	消防本部	消防署	出張所
施設	1本部	1署	5出張所

平成23年4月1日

	職員	うち女性職員
職員	235人	4人
市民	1,002人	に1人
	団員	うち女性職員
団員	420人	20人
市民	560人	に1人



平成23年4月1日

	消火栓	防火水槽
水利	2311基	215基



車 両

平成23年4月1日

ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車	救急車
7台	2台	2台	1台	6台
指揮車	広報車	*非常用車両は含んでおりません。		
1台	4台			



平成22年中

火災件数			救急件数			救助件数		
47件			9,384件			60件		
7.7日 に1件			1日に約 26件			6.0日 に1件		
第1位	放火（疑い含む）	16件	第1位	急病	6,028件	第1位	建物等による事故	20件
第2位	こんろ	6件	第2位	一般負傷	1,297件	第2位	交通事故	16件
第3位	火遊び	4件	第3位	交通事故	960件	第3位	水難事故	4件

平成23年4月1日

	防火対象物	危険物施設
予防	5,280棟（むね）	249施設

平成23年4月1日現在

	防災訓練	のべ参加人員	街頭消火器	自主防災組織
防災	33回	6,673人	2,677本	135組織

消防のあゆみ

- S 2 2 . 1 0 . 1 単独で市制を施行（人口 4 3 , 3 1 5 人、戸数 9 , 0 5 5 戸）
- 2 3 . 2 . 2 4 自治体消防発足の準備態勢にはいる。県下各消防署から消防官 7 人が配属、消防車（日産 2 6 馬力昭和 1 6 年式）を県から移管
- 3 . 7 自治体消防として発足（消防組織法の公布施行により警察機構 から分離、茅ヶ崎市消防本部並びに消防署を設置する）
- 3 . 7 小川信治 初代消防長に就任
- 3 . 1 0 仮消防庁舎を旧市役所一隅に設置し、警備にはいる。（職員 1 0 人採用計 1 7 人）
- 1 1 . 2 8 消防庁舎を旧茅ヶ崎警察庁舎（茅ヶ崎 3 , 2 1 7 番地）に移転
- 2 4 . 5 . 3 消防車（フォードオート三輪 2 4 馬力昭和 6 年式）を配置
- 2 6 . 1 . 1 2 課制 庶務課（庶務・経理・教養・機関・消防団係）、予防課（建築・予防係）
- 2 . 1 2 消防車（日産 2 6 馬力昭和 2 5 年式）を配置
- 1 0 . 救急業務を暫定的に開始 - 救急車（オート号 2 5 馬力昭和 1 4 年式）を配置
- 2 7 . 1 . 1 2 課制 庶務課（庶務・経理・教養・機関係）、消防課（消防・建築・予防係）
- - 小型動力ポンプ 1 台を配置し、消防車に親子ポンプとして積載
- 2 8 . - - 緊急自動車（シボレー 8 5 馬力昭和 2 7 年式）を配置
- 2 9 . 6 . - 消防車（日産ジープ 9 5 馬力）を配置
- 1 2 . 1 8 南湖出張所を開設
- 3 0 . 4 . 5 小出村の市編入により 3 分団（堤、行谷・下寺尾、芹沢）加入し、 3 2 分団 定数・実員 8 3 9 人
- 3 1 . 9 . 1 9 茅ヶ崎市石油防火協会の発足
- 3 2 . 1 . 1 2 係制 庶務係（庶務・経理・教養・整備）、消防係（消防・建築・予防）
- 3 3 . 1 1 . 1 水槽付消防車（いすゞ 1 3 0 馬力）を配置
- 3 4 . 9 . 2 5 大津武男 消防長職務代理に就任
- 1 2 . 2 8 堀越 誠 2 代消防長に就任（助役を兼ねる）
- 3 5 . - - 緊急自動車（シボレー 8 5 馬力昭和 2 8 年式）を配置
- 1 2 . 2 6 消防専用短波無線基地局を開局
- 3 6 . 4 . 2 8 消防車（いすゞ 5 , 7 0 0 c c ）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
- 5 . 2 8 大津武男 消防長職務代理に就任
- 3 7 . 6 . 2 0 救急業務を正式に開始 救急車（トヨタ 1 , 9 0 0 c c ）を配置
- 3 8 . 1 . 1 3 係制 庶務係（庶務・経理・整備）、警防係（消防・予防第 1 ・第 2 ）、消防団係
- 7 . 1 8 寒川町の救急業務を昭和 4 7 年 3 月 3 1 日（4 2 年 1 2 月 1 日から夜間のみ）まで代行する。

12.27	消防車（日産FR4, 000cc）を配置
40.4.1	2課制 庶務課（庶務係・管理係）、警防課（消防係・予防係）
10.28	消防車（日産4, 000cc）を配置
11.1	消防専用短波無線を超短波無線に切り換える。
12.24	小和田出張所を開設
41.11.1	朝倉房治 3代消防長に就任
11.21	水槽付消防車（いすゞ5, 654cc、水2t、薬剤0.2t）を配置
11.28	救急車（トヨタ4, 000cc）を配置
42.10.16	救助隊発足（隊長以下11人）
10.16	大津武男 消防長職務代理に就任
43.11.11	大津武男 4代消防長に就任
11.13	消防庁舎を矢畑（1, 280番地の3）に移転
12.20	消防車（日産FR4, 000cc）を配置
44.6.10	鈴木芳雄 署長に就任 署長の専任制始まる。
9.1	指令車（日産1, 600cc）を配置
11.10	救急車（トヨタ4, 000cc）を配置
45.11.9	水槽付消防車（いすゞ5, 654cc、水1.6t）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
46.3.31	救助工作車（日産2, 000cc）を配置
12.24	消防車（日産FH60, 4, 000cc）を配置
年度内	人口急増地域に指定される。
47.9.20	救急車（トヨタ2, 000cc）を配置
48.5.1	斎藤清二 5代消防長に就任
49.2.26	消防車（いすゞSBR320, 5, 000cc）を配置
5.1	係制を担当制とし、予防課（指導・保安・査察担当）を新設 庶務課（庶務・管理・消防団担当）、警防課（警備・整備担当）
11.1	小林吉男 署長に就任
11.6	救急車（トヨタRH18V2, 2, 000cc）を配置
12.4	はしご車（24m日野KB322, 9, 830cc）を配置
50.7.3	連絡車（三菱ギャラン・バン1, 600cc）を配置
10.	自宅研修制度の試行
11.5	消防車（日産FH60, 4, 000cc）を配置
51.2.3	消防救急一斉指令装置を設置
2.26	広報車（日産ブルーバード1, 600cc）を配置（茅ヶ崎市 石油防火協会から寄贈）
10.2	関野恒吉 署長に就任
10.2	予防課の担当を改める。（査察第1・第2・第3・予防担当）
52.2.8	南湖出張所を改築
2.26	救急車（日産H-GKPE2, 000cc）を配置（グリーン ライオンズクラブから寄贈）

- 5 . 1 0 署査察車（スズキ軽ジープ 3 6 0 c c ）を配置 （角田九十郎氏から寄贈）
- 6 . 1 望楼勤務（定時）の廃止
- 1 2 . 1 テレフォンガイドを設置し、「防災スポット」を開始
- 1 2 . 2 指令車（トヨタコロナバン 1 , 6 0 0 c c ）を配置
- 5 3 . 1 . 1 2 消防車（日産 F H 6 0 、 4 , 0 0 0 c c ）を配置
- 2 . 1 8 救助工作車（日野 K L 5 2 1 、 6 , 2 1 0 c c ）を配置
- 年 度 内 非常電源（自家発電）装置を設置（本署）
- 4 . 1 2 茅ヶ崎市危険物安全協会発会式（茅ヶ崎市石油防火協会を改組）
- 7 . 2 4 総合自動気象観測装置・震度計を設置
- 1 2 . 1 3 水槽付消防車（いすゞ S C R 3 2 0 、 1 . 5 t ・ 5 , 7 8 0 c c ）を配置
- 5 4 . 3 . 2 7 救急車（トヨタ H R H 4 2 V B 2 , 0 0 0 c c ）を配置
- 年 度 内 地震対策用街頭消火器を 3 0 0 本設置（8 年計画 - 初年度）
- 7 . 1 小林吉男 署長に就任
- 7 . 1 担当制を係制にし、予防課に地震対策係、庶務課に企画係を新設
庶務課（庶務・企画係）、予防課（予防・危険物・地震対策係）、
警防課（警防、整備係）
- 8 . 7 地震対策強化地域に指定される。（大規模地震対策特別措置法の
施行による）
- 1 0 . 2 1 茅ヶ崎古式消防保存会の発足
- 1 1 . 2 9 救急専用無線基地局を開局
- 5 5 . 2 . 8 救急車（トヨタ J R H 4 5 V B 、 2 , 0 0 0 c c ）を配置
- 2 . 1 4 消防車（いすゞ T L D 4 4 、 2 , 7 7 0 c c ）を配置
- 2 . 1 8 防災連絡車（スバルサンバー軽四）を配置
- 2 . 2 5 照明電源車（いすゞ）を配置
- 年 度 内 耐震性貯水槽（1 0 0 t ）を設置開始（1 5 年計画）
- 4 . 1 救急隊 1 隊を増隊し本署 2 隊出動とする。
- 7 . 1 7 4 課制 防災課（計画・指導係）を新設 庶務・予防・警防課
- 9 . 2 6 化学車（いすゞ、水 1 t ）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
- 1 2 . 5 ミニ消防車（スバル 5 4 0 c c ）を配置
- 1 2 . 1 1 防災広報車（日産）を配置（グリーンライオンズクラブから寄
贈）
- 5 6 . 1 . 7 茅ヶ崎古式消防保存会に「まとい」を寄贈
- 3 . 1 消防本部庁舎兼防災備蓄倉庫を建設 署・仮眠室等の増改築
- 年 度 内 避難誘導標識（ポール）を設置開始
- 4 . 1 関野恒吉 署長に就任
- 5 . 1 警備第一課・二課制、指導課（管理・指導係）の新設 副署長制
及び甲・乙部制の廃止
- 5 . 1 第 3 小隊（遊動隊として）を発足
- 6 . 2 9 市全域写真集成図を庁議室に設置（稲岡氏から寄贈）

- 9 . 2 4 軽可搬消防ポンプを堤婦人防火クラブに配置（県消防協会から寄贈）
- 1 2 . 1 0 消防車（いすゞ K L T D 4 6、3 , 2 6 0 c c）を配置
- 5 7 . 2 . 1 緊急情報現示装置を設置
- 3 . 3 0 防災行政用無線（遠隔制御器）を設置 子局 3 5 箇所 4 月 3 0 日使用開始
- 年 度 内 避難地案内板を設置開始（〔財〕日本宝くじ協会から寄贈）
- 4 . 1 避難地案内版 1 0 箇所設置
- 8 . 1 9 第 1 1 回消防救助技術全国大会優秀表彰（はしご登はん、水上複合検索）
- 8 . 3 0 図書「迫る東海地震（裸の都市）」（三橋卯之助氏から寄贈）
- 1 0 . 1 第 3 小隊増隊
- 1 1 . 1 小林吉男 署長に就任
- 5 8 . 2 . 1 0 救急車（日産キャラバン）を配置（日本損害保険協会から寄贈）
- 2 . 2 5 はしご車（3 5 m 三菱）を配置
- 4 . 1 救急医療情報装置を設置
- 年 度 内 防災行政用無線子局 6 5 箇所設置、計 1 0 0 箇所
- 年 度 内 防災用備蓄コンテナを設置開始、2 箇所
- 年 度 内 幼年消防団を発足、2 4 団体
- 5 9 . 4 . 1 茅ヶ崎市少年婦人防火委員会を発足
- 4 . 2 斎藤清二 消防長 署長を兼務
- 8 . 7 消防指令広報車（日産ブルーバード 1 , 5 9 0 c c）を配置（日本消防協会から寄贈）
- 8 . 2 4 第 1 3 回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上複合検索）
- 1 1 . 1 小林吉男 6 代消防長に就任
- 1 1 . 1 佐藤好男 署長に就任
- 1 1 . 1 3 防災パトロール車（日産トラック 2 , 2 8 0 c c）を配置
- 年 度 内 防災行政用無線子局を海岸線に 4 箇所設置、計 1 0 4 箇所
- 年 度 内 防災用備蓄コンテナを 1 2 箇所設置、計 1 4 箇所
- 6 0 . 4 . 1 森林法の改正により市内の一部を森林地区に指定する。（林野火災の取扱い変更）
- 9 . 1 8 軽可搬消防ポンプを平和町婦人消防隊に配置（日本消防協会から寄贈）
- 6 1 . 2 . 1 0 救急車 1 台を更新し、配置
- 年 度 内 防災行政用無線子局を海岸線に 2 箇所設置、計 1 0 6 箇所
- 年 度 内 防災用備蓄コンテナを 1 2 箇所に設置、計 2 6 箇所
- 4 . 1 消防署小出出張所を開設（消防ポンプ自動車 1 台、人員 1 4 人配置）
- 6 . 1 8 軽可搬消防ポンプを下赤羽根婦人消防隊に配置
- 9 . 1 県防災行政用無線高速ファックス設置
- 1 0 . 1 小和田出張所救急隊運用開始（増隊）

1 1 . 1 2	視聴覚障害者災害通報用ファックス運用開始（ 8 5 ） 1 1 1 2
6 2 . 3 . 1 2	消防通信指令庁舎完成
年 度 内	防災用備蓄コンテナを 2 箇所設置、計 2 8 箇所
8 . 1 7	軽可搬消防ポンプを堤婦人消防隊に配置（日本消防協会から寄贈）
年 度 内	消防用備蓄コンテナを 1 箇所設置、計 2 9 箇所
6 3 . 4 . 1	消防緊急情報システム運用開始 これより室長制を導入する。
4 . 1	清水弘和 7 代消防長に就任
4 . 1	岡崎 武 署長に就任
6 . 3	防火広報車を消防本部に配置（日本防火協会から寄贈）
8 . 1 9	第 1 7 回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上複合検索）
1 0 . 1	自治会に戸別受信機を設置する。
H 元 . 1 . 1	消防署組織等規程の改正により中隊制を導入する。
1 . 1	新給料制の導入に伴い、現 6 等級制を 8 級制に改める。
3 . 6	昭和 6 3 年度消防庁長官定例表彰竿頭授与
年 度 内	防災用備蓄コンテナを 1 箇所設置、計 3 0 箇所
6 . 4	第 2、第 4 土曜日閉庁の施行
9 . 1	県・市合同総合防災訓練（浜須賀中学校）
2 . 2 . 3 1	飲料水兼用貯水槽を中央公園に設置する。市総合体育館内防災倉庫整備
3 . -	小和田出張所の増築及び本署防水塗装工事
年 度 内	「危険物安全週間」始まる。
4 . 1	消防長の階級を消防正監に、次長、署長を消防監に改める。城田満 署長に就任
5 . 2 5	水槽付消防ポンプ自動車を本署に配置（日本損害保険協会から寄贈）
9 . 1 4	救急自動車を本署に配置（日本自動車工業会から寄贈）
1 0 . 4	防災防火広報車を消防本部に配置（茅ヶ崎ロータリークラブから寄贈）
1 2 . 2 8	連絡車を消防本部に配置
3 . 1 . 3 1	飲料水兼用貯水槽を浜須賀中学校に設置する。
3 . 4	救助工作車を本署に配置
4 . 1	消防署鶴嶺出張所を開設（消防車 1 台 救急車 1 台 人員 2 0 人配置）
4 . 1	水難救助活動運用開始
4 . 1	ポケットベルを消防長、署長、担当課長に配布する。
4 . 1	救急自動車に自動車電話を積載する。
7 . 2 5	救急自動車を小和田出張所に配置（日本消防協会から寄贈）
8 . 1	防災行政無線（子局）の難聴地区の調査を実施する。
8 . 2 0	第 2 0 回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上複合検索、水上溺者搬送）

4 .	3 .	1 0	2 5 m級屈折はしご車を本署に配置
	3 .	1	防災マップを全戸に配布
	3 .	1 2	飲料水兼用貯水槽を萩園中学校に設置
	年 度 内		防災行政用無線子局を 1 箇所撤去、4 箇所設置、計 1 0 9 箇所
	7 .	1	半谷隆明 署長に就任
1 1 .	1		救急業務拡大 9 項目応急処置の実施
5 .	1 .	1	完全週休二日制の施行
	3 .	3 0	飲料水兼用貯水槽を東小和田公園に設置
	年 度 内		本署・各出張所にファクスを設置
	4 .	1	消防本部消防署組織等規程の改正
			消防署松林出張所を開設
			鶴嶺小隊水難隊を兼ねる。
	4 .	1	本署配置の消防隊 1 隊、救急隊 1 隊、松林出張所に配置替（消防車 1 台 救急車 1 台 人員 2 2 人配置）
	4 .	1	太田 貢 8 代消防長に就任
	4 .	1	職・階級制度の改正に伴い、課長補佐職及び主査司令補の導入
	8 .	2 0	第 2 2 回消防救助技術全国大会優秀賞（基本泳法）
1 0 .	1		横浜市救急救命士養成所に入所
6 .	3 .	2 9	飲料水兼用貯水槽を茅ヶ崎市営球場に設置
	4 .	2 7	救急救命士誕生
	1 2 .	2 7	高規格救急自動車を本署に配置
7 .	2 .	1 0	水難救助工作車を鶴嶺出張所に配置
	3 .	2 4	飲料水兼用貯水槽を浜之郷公園に設置
	4 .	1	吉川良雄 9 代消防長に就任
			飯島 隆 署長に就任
			消防本部組織等規則改正を行う。消防本部、庶務課、予防課、警防課に改める。
	7 .	1	機構改革により防災課が市長部局へ移り防災対策課となる。
	9 .	1 1	消防本部・消防署・小和田及び南湖出張所の耐震診断調査を実施
1 0 .	1		消防用超短波無線に全国波を導入
8 .	4 .	1	半谷隆明 1 0 代消防長に就任
9 .	3 .	1 8	飲料水兼用貯水槽を西浜中学校に設置
	3 .	-	消防本部、5 出張所、茅ヶ崎公園に災害対策用資機材を配備
	4 .	1	佐藤武雄 1 1 代消防長に就任
			浅岡幸信 署長に就任
	8 .	2 2	第 2 6 回消防救助技術全国大会優秀表彰（斜めブリッジ救助）
1 0 .	2 .	2 7	高規格救急自動車を小和田出張所に配置
	3 .	7	平成 9 年度消防庁長官表彰旗授与
	3 .	1 1	消防署及び小和田出張所の耐震補強工事を実施
	4 .	1	鈴木達夫 署長に就任
			消防本部組織等規則改正 庶務課を総務課に、係を担当に改める。

- 1 1 . 2 . 2 6 本署に監視カメラ、出張所にインターホン設置工事を実施、夜間の受付勤務を廃止する。
- 3 . 1 5 自動車電話等転送専用回線設置工事を実施
- 8 . 1 9 第 2 8 回消防救助技術全国大会優秀表彰（引揚救助）
- 1 0 . 4 水野南雄 1 2 代消防長に就任
- 1 2 . 2 . 1 高規格救急自動車を松林出張所に配置
- 2 . 1 7 指揮車（トヨタレジアスエース 2 , 0 0 0 c c ）を本署に配置
- 4 . 1 鈴木善明 署長に就任
- 1 1 . 1 消防署南湖出張所を廃止し、消防署海岸出張所を開設
本署配置の屈折梯子車、鶴嶺出張所配置の水難救助工作車、旧南湖出張所の消防車を海岸出張所に配置替（人員 1 8 人配置）
- 1 3 . 2 . 1 高規格救急自動車を海岸出張所に配置（人員 1 0 人配置）
- 3 . 1 6 飲料水兼用貯水槽を緑が浜小学校に設置
- 4 . 1 金子光男 1 3 代消防長に就任
古谷一郎 署長に就任
- 9 . 2 6 高規格救急自動車を鶴嶺出張所に配置
- 9 . 2 8 水上オートバイを海岸出張所に配置
- 1 4 . 4 . 1 消防本部組織等規則改正 総務課を消防総務課に、消防署通信指令室を消防本部警防課指令担当に改める。
石黒 均 署長に就任
- 1 5 . 4 . 1 鈴木善明 1 4 代消防長に就任
消防緊急通信指令システムの更新
- 9 . 1 1 茅ヶ崎市消防本部のホームページを開設
- 1 6 . 1 . 1 3 3 5 m はしご付消防自動車を本署に配置
- 3 . 4 消防本部及び消防署の防水塗装工事を実施
- 3 . 2 4 小和田出張所の防水塗装工事を実施
- 4 . 1 今井信直 署長に就任
- 7 . 1 小出暫定広場に消防操法訓練場を併設
- 8 . 2 6 第 3 3 回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上：複合検索）
- 1 1 . 3 高規格救急自動車を小出出張所に配置（人員 1 0 人配置）
- 1 1 . 1 9 第 7 回全国消防広報コンクールホームページ部門優秀賞（消防庁長官）
- 1 7 . 4 . 1 竹森 浩 1 5 代消防長に就任
小澤賢三 署長に就任
消防本部に救命課を新設
- 6 . 2 1 絵画「星降る沙漠」の寄贈（画家 岩本和子氏）
- 8 . 1 消防車両及び公共機関へ A E D（自動体外式除細動器）の設置開始
- 1 2 . 1 4 チタン製三連はしごの寄贈（トーホーテック㈱）
- 1 8 . 1 . 1 9 茅ヶ崎市応急手当普及協会発足
- 4 . 1 今井信直 1 6 代消防長に就任
消防本部組織等規則及び消防署組織等の一部改正 予防業務に関する窓口の一元化（消防同意事務等）

6 .	1	住宅に住宅用火災警報器の設置義務付け
8 .	2 4	第 3 5 回全国消防救助技術指導会表彰（基本泳法）
1 2 .	2 2	市役所ロビーにて「茅ヶ崎消防あゆみ展」を開催
1 2 .	1	茅ヶ崎市災害時協力事業所登録制度の運用開始
1 9 .	2 . 2 0	本署 救助工作車を更新
	9 . 1	出張所に不在時対応電話を設置
2 0 .	2 . 1 8	財団法人日本消防協会から消防団多機能型消防車の寄贈
	4 . 1	熊澤利房 署長に就任
	7 . 2 4	採用試験に伴うインターンシップを実施
	8 . 2 9	第 3 7 回全国消防救助技術指導会表彰（複合検索）
1 1 .	9	第 1 回消防フェスティバルを開催
2 1 .	4 . 1	太田 登 署長に就任
		茅ヶ崎市消防団協力事業所表示制度の運用開始
2 2 .	1 . 2 7	消防ポンプ付救助自動車 を小和田出張所に配置
2 2 .	4 . 1	女性消防分団（第 2 2 分団 通称：茅ヶ崎ファイヤーレディース）発足
2 2 .	8 . 2 7	第 3 9 回全国消防救助技術指導会表彰（複合検索）
		消防訓練施設を茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目 4 番 7 号(茅ヶ崎市資源物選別処理施設内)へ移設
2 3 .	1 . 1 8	水難救助工作車を海岸出張所に配置
2 3 .	2 . 2 4	消防ポンプ付水難救助自動車 を鶴嶺出張所に配置
2 3 .	4 . 1	生川幹雄 1 7 代消防長に就任
		川上幸男 署長に就任

歴 代 消 防 長

初代消防長	小川 信治	昭和 2 3 年 3 月 7 日
2 代消防長	堀越 誠	昭和 3 4 年 1 2 月 2 8 日
3 代消防長	朝倉 房治	昭和 4 1 年 1 1 月 1 日
4 代消防長	大津 武男	昭和 4 3 年 1 1 月 1 1 日
5 代消防長	斎藤 清二	昭和 4 8 年 5 月 1 日
6 代消防長	小林 吉男	昭和 5 9 年 1 1 月 1 日
7 代消防長	清水 弘和	昭和 6 3 年 4 月 1 日
8 代消防長	太田 貢	平成 5 年 4 月 1 日
9 代消防長	吉川 良雄	平成 7 年 4 月 1 日
1 0 代消防長	半谷 隆明	平成 8 年 4 月 1 日
1 1 代消防長	佐藤 武雄	平成 9 年 4 月 1 日
1 2 代消防長	水野 南雄	平成 1 1 年 1 0 月 4 日
1 3 代消防長	金子 光男	平成 1 3 年 4 月 1 日
1 4 代消防長	鈴木 善明	平成 1 5 年 4 月 1 日
1 5 代消防長	竹森 浩	平成 1 7 年 4 月 1 日
1 6 代消防長	今井 信直	平成 1 8 年 4 月 1 日
1 7 代消防長	生川 幹雄	平成 2 3 年 4 月 1 日（現職）

叙 位 ・ 叙 勲 者

<u>受章年月日</u>	<u>氏名</u>	<u>元階級</u>	<u>勲等別</u>
昭和54年11月16日	美濃島喜三郎 氏	司令長	正七位勲五等
昭和56年 4月29日	大津武男 氏	消防監	勲五等瑞宝章
(昭和60年 6月19日 正六位)			
昭和57年11月10日	石川 馨 氏	司令長	正七位勲五等瑞宝章
平成 4年 3月21日	城田満也 氏	消防監	従六位勲五等瑞宝章
平成 4年 4月29日	荒井茂男 氏	司令補	勲七等青色桐葉章
平成 5年 2月16日	岩壁 清 氏	司令長	従七位勲六等瑞宝章
平成 7年 4月29日	和田浦吉 氏	司令補	勲七等青色桐葉章
平成 9年 4月29日	関野恒吉 氏	司令長	勲五等双光旭日章
(平成19年 7月 3日 正六位)			
平成10年12月11日	栗原光博 氏	司令	従七位勲六等瑞宝章
平成12年 6月 1日	木村正幸 氏	司令長	正七位勲六等単光旭日章
平成13年 3月23日	富田 進 氏	司令	正七位勲六等単光旭日章
平成13年11月 9日	斎藤清二 氏	消防監	勲五等双光旭日章
平成14年12月18日	矢島 進 氏	司令	正七位勲六等単光旭日章
平成15年11月 4日	内藤政司 氏	司令長	瑞宝単光章
平成16年11月 3日	関野大作 氏	司令	瑞宝単光章
(平成19年10月21日 正七位)			
平成17年 1月25日	山本 勇 氏	司令	従七位瑞宝単光章
平成17年 5月25日	配島高雄 氏	司令長	瑞宝単光章
平成17年12月 2日	小島光徳 氏	司令長	従六位瑞宝双光章
平成17年12月12日	石黒幸次 氏	司令	従七位瑞宝単光章
平成18年11月 3日	高橋雷太郎 氏	司令長	瑞宝単光章
平成19年 4月29日	岡崎 武 氏	司令長	瑞宝双光章
平成19年 5月20日	小町利夫 氏	司令	従七位瑞宝単光章
平成19年11月 3日	加藤恒男 氏	司令長	瑞宝双光章
平成19年11月 3日	小林吉男 氏	消防監	瑞宝双光章
平成20年 4月29日	島崎 彰 氏	司令長	瑞宝双光章
平成20年 4月29日	亀井善彦 氏	司令長	瑞宝双光章
平成20年11月 3日	小菅隆治 氏	司令長	瑞宝双光章
平成20年11月 3日	佐藤好男 氏	司令長	瑞宝双光章

平成 2 1 年	4 月 2 9 日	飯島 隆	氏	消防監	瑞宝双光章
平成 2 1 年	1 1 月 3 日	石川幸雄	氏	司令長	瑞宝双光章
平成 2 2 年	4 月 2 9 日	浅岡幸信	氏	消防監	瑞宝單光章
平成 2 2 年	8 月 2 5 日	新倉隆治	氏	司令	從七位瑞宝單光章
平成 2 2 年	8 月 2 7 日	佐藤好男	氏	司令長	正六位瑞宝單光章
平成 2 2 年	1 1 月 3 日	高村定芳	氏	消防監	瑞宝双光章
平成 2 2 年	1 1 月 3 日	半谷隆明	氏	消防正監	瑞宝小綬章
平成 2 3 年	2 月 1 4 日	高橋雷太郎	氏	司令長	從六位瑞宝單光章
平成 2 3 年	6 月 2 日	齊藤輝男	氏	司令長	正七位瑞宝單光章

MEMO



消 防 の 機 構

消防本部

平成23年4月1日現在

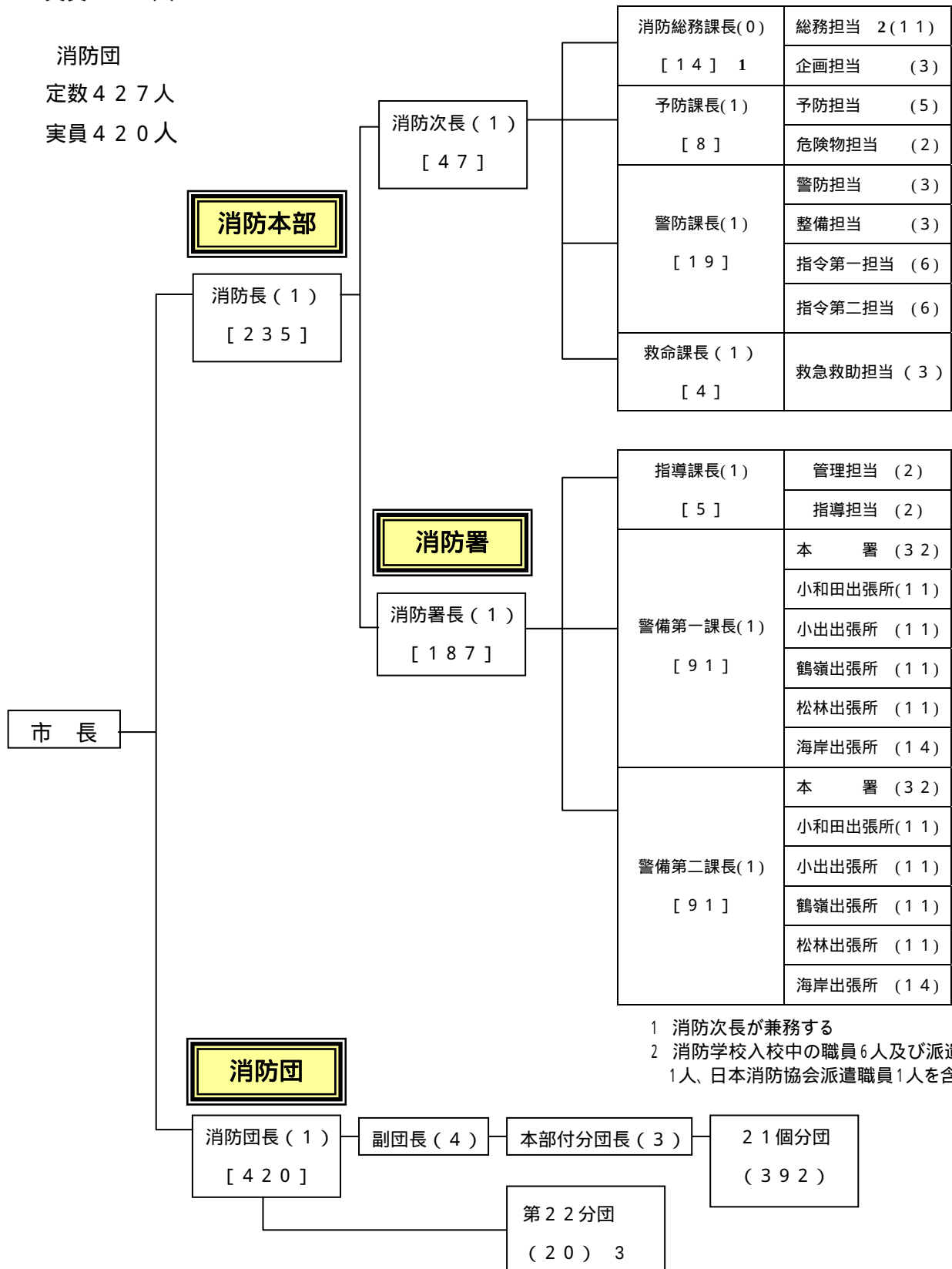
定数239人 ()内は人員 []内は小計を表す。

実員235人

消防団

定数427人

実員420人

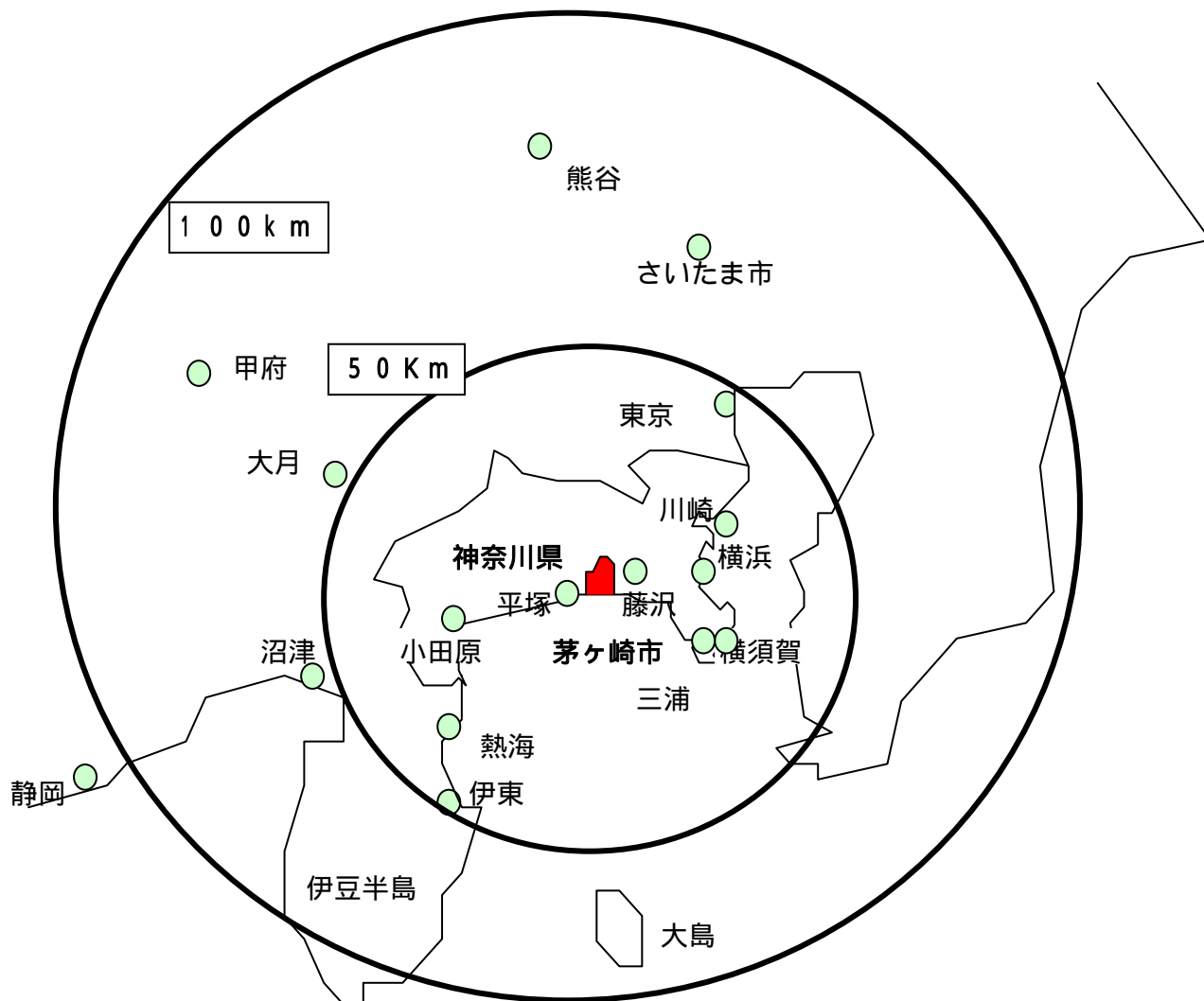


- 1 消防次長が兼務する
- 2 消防学校入校中の職員6人及び派遣教官1人、日本消防協会派遣職員1人を含む

3 女性消防分団

市の概要

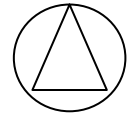
本市は、神奈川県の中南部、東経139度24分、北緯35度19分に位置し、東京から西に50km あり、東は藤沢市、西は相模川をはさんで平塚市、南は海岸線約6km に及び相模湾、そして北は寒川町と接しています。面積は35.76km²、東西6.94km、南北7.60km で、周囲は30.46km に及んでいます。



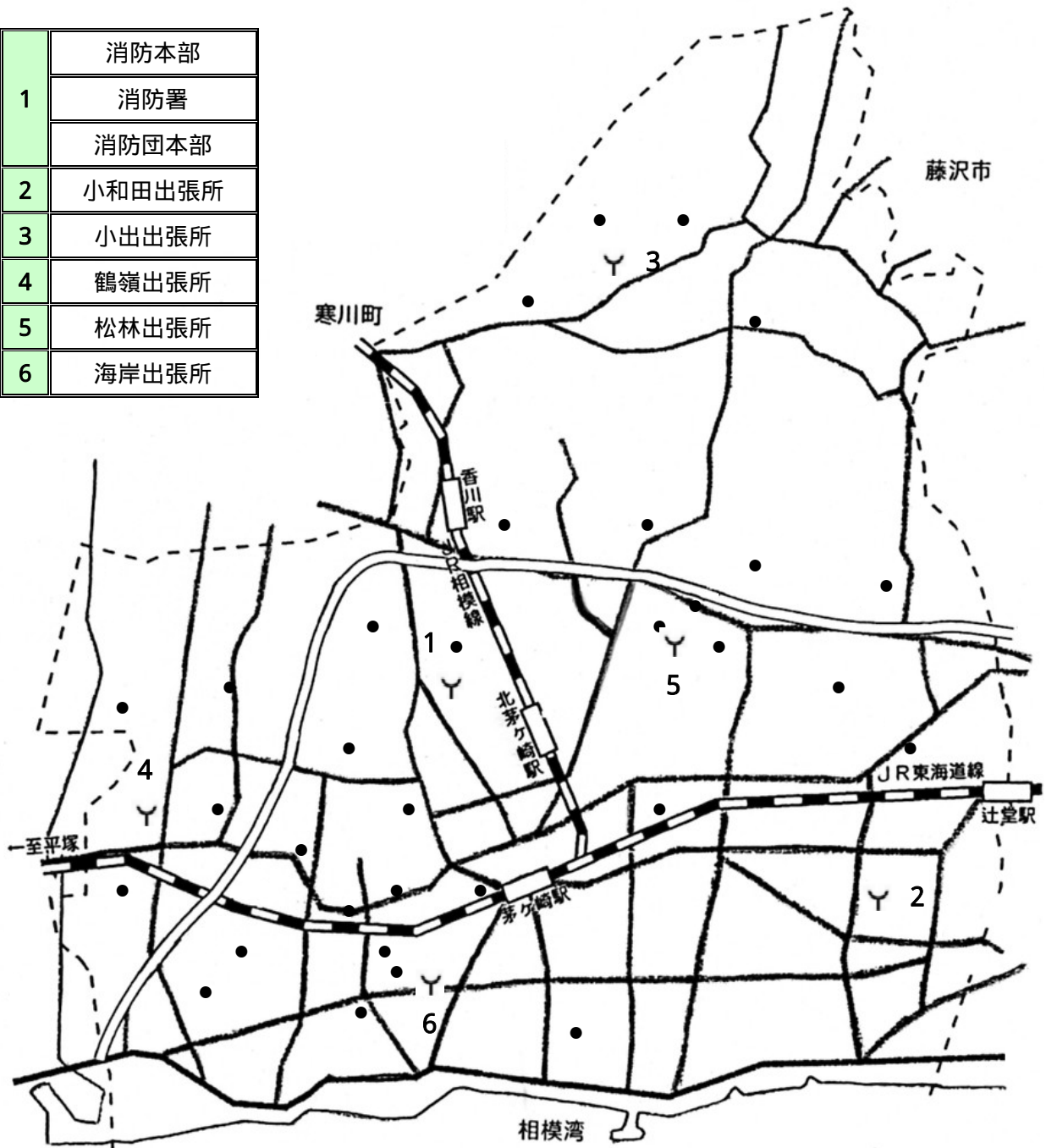
平成23年4月1日現在

面 積	人 口	世帯数	人口密度 (1km ² 当りの人口)	1世帯当りの人口
35.76km ²	235,419 人	93,869 世帯	6,592.5 人	2.51 人
東西 6.94km 南北 7.60km 海岸線 5.95km 周囲 30.46km	平成22年4月1日との比較			
	1,007 人増	64 人減	37.5 人増	0.02 人増

消防分布図



1	消防本部
	消防署
	消防団本部
2	小和田出張所
3	小出出張所
4	鶴嶺出張所
5	松林出張所
6	海岸出張所



Y は消防本部・消防署各出張所を表します。

● は消防団各分団器具置場を表します。

* なお、消防本部各庁舎の名称・所在地は 30 ページに、各分団器具置場の名称・所在地は 72 ページに掲載してあります。

総務



茅ヶ崎市消防出初式

MEMO



消防費 予算

平成23年度 単位千円

款	項	目	金額	比率
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	2,088,810	91.71%
		非常備消防費	56,244	2.47%
		消 防 施 設 費	132,620	5.82%
予 算 總 合 計			2,277,674	100.00%

市予算との比較

単位 千円

区分 \ 年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	前年度比率
市 予 算 額 (一 般 会 計)	57,790,000	61,410,000	58,250,000	-5.42%
消 防 予 算 額	2,306,867	2,274,024	2,277,674	0.16%
比 率	3.99%	3.70%	3.91%	

市決算との比較

単位 円

区分 \ 年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
市 決 算 額 (一 般 会 計)	57,803,762,658	61,634,884,012	62,041,101,829
消 防 決 算 額	2,358,346,074	2,245,903,732	2,274,300,361
比 率	4.08%	3.64%	3.67%

人口との比較(予算)

平成23年4月1日現在

目 区分 \ 項	予算額(千円)	1世帯当り(円)	市民1人当り(円)
消 防 予 算 額	2,277,674	24,264	9,675

世帯数 93,869世帯 人口 235,419 人

消防力の現有 消防職員の定員・実員

平成23年4月1日現在

定数	実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	行政職員
239	235	1	2	6	45	70	32	38	38	3
比 率 (%)		0.4%	0.9%	2.6%	19.1%	29.8%	13.6%	16.2%	16.2%	1.3%

消防職員の割合

平成23年4月1日現在

区分	人口に対して	世帯に対して	面積に対して
消防職員の割合	1,002人/1人	399世帯/1人	0.15km ² /1人

署所

平成23年4月1日現在

区 分	消防本部	消 防 署	出 張 所
現 有 数	1	1	5

消防車両(常備)

平成23年4月1日現在

区 分	消防ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車	水槽付消防ポンプ自動車	救急車	特殊車両	非常用自動車		その他
								消防ポンプ車	救急車	
現有数	7	2	2	1	2	6	9	1	1	4

階級別年齢別消防職員構成表(市役所出向職員3名を含む)

平成23年4月1日現在

年齢	総数	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	消防正監	行政職員
総数	238	38	38	34	71	45	6	2	1	3
18歳	1	1								
19歳	1	1								
20歳	2	2								
21歳	3	3								
22歳	1	1								
23歳	9	9								
24歳	2	2								
25歳	4	3								1
26歳	5	5								
27歳	7	5	2							
28歳	6	1	5							
29歳	10	4	6							
30歳	11	1	10							
31歳	3		3							
32歳	4		3	1						
33歳	10		7	3						
34歳	7		2	5						
35歳	13			13						
36歳	10			10						
37歳	11			2	9					
38歳	9				9					
39歳	10				10					
40歳	3				3					
41歳	6				6					
42歳	6				6					
43歳	5				5					
44歳	6				5					1
45歳	4				2	1				1
46歳	3				1	2				
47歳	6				3	3				
48歳	5				2	3				
49歳	7				2	4	1			
50歳	7				2	5				
51歳	5				2	2	1			
52歳	7				2	5				
53歳	3				1	2				
54歳	7				1	3	3			
55歳	3					2		1		
56歳	4					3		1		
57歳	4					3			1	
58歳	4					3	1			
59歳	4					4				
60歳	0									
平均年齢	43.2	24.5	30.4	35.0	42.3	52.4	53.3	55.5	57.0	38.0

小数点第二位以下四捨五入

階級別勤続年数別消防職員構成表（市役所出向職員 3 名を含む）

平成23年4月1日現在

年齢	総数	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	消防正監	行政職員
総数	238	38	38	34	71	45	6	2	1	3
1年未満	6	6								
1年以上	9	9								
2年以上	4	4								
3年以上	10	9								1
4年以上	9	8	1							
5年以上	7	1	6							
6年以上	4		4							
7年以上	14	1	13							
8年以上	4		4							
9年以上	4		4							
10年以上	7		3	4						
11年以上	7		2	5						
12年以上	2		1	1						
13年以上	2			2						
14年以上	2			2						
15年以上	0									
16年以上	6			4	2					
17年以上	11			10	1					
18年以上	10			5	5					
19年以上	9			1	8					
20年以上	10				10					
21年以上	11				10					1
22年以上	6				5					1
23年以上	4				4					
24年以上	2				1	1				
25年以上	13				10	3				
26年以上	0									
27年以上	2					2				
28年以上	4				1	2	1			
29年以上	6				4	2				
30年以上	9				2	6	1			
31年以上	9				2	6	1			
32年以上	8				3	4	1			
33年以上	6				1	3		1	1	
34年以上	3				1	2				
35年以上	3					2	1			
36年以上	2					2				
37年以上	4					2	1	1		
38年以上	3				1	2				
39年以上	2					2				
40年以上	3					3				
41年以上	1					1				
平均勤続年数	21.7	2.3	7.4	14.8	23.2	32.4	32.2	35.0	33.0	15.3

小数点第二位以下四捨五入

消防職員年度別公務災害発生状況

（平成23年4月現在で申請中のものを除く）

消防機関年度別活動災害発生状況 (平成28年度現在で申請中のもものを除く)												
年度	区分	件数等	負傷時の状況							治療期間		
			火災	風水害等の災害	救急業務	演習・訓練等	特別警戒	搜索	その他	1週間未満	1か月未満	1か月以上
22年度	件 数	1							1			1
	死 者	0										
	負傷者	1							1			1
21年度	件 数	2			1	1					1	1
	死 者	0										
	負傷者	2			1	1					1	1

研修等派遣状況

派遣先	研修等種別		人員	司令	司令補	士長	副士長	士
消防大学 消防研修	警 防 科 (第 8 7 ・ 8 8 期)		2		2			
	火 災 調 査 科 (第 2 0 期)		1			1		
	国 民 保 護 コ ー ス		1	1				
消防学校 消防研修	初任	第 2 0 6 期	10					10
	専科	救 急 科	3		1	2		
			7				1	6
		警 防 科	1		1			
		予 防 査 察 科	1	1				
		救 助 科	2			1	1	
		特 殊 災 害 科	1			1		
		火 災 調 査 科	2			1	1	
	幹部	中 級 幹 部 科	1		1			
	特別	水 難 救 助 課 程	1				1	
		幹 部 特 別 教 育 (研 修 教 官)	1		1			
		梯 子 操 作 員 課 程	1			1		
		特 別 救 助 隊 員 研 修	2			1	1	
		救 命 士 研 修	2		1	1		
救 急 救 命 東 京 研 修 所		2		1	1			
救 急 救 命 士 就 業 前 研 修		3		1	1		1	
救 急 救 命 士 再 教 育 研 修		13	3	6	1	1	2	
救 命 士 薬 剤 投 与 講 習		2		2				
救 命 士 気 管 挿 管 講 習		2				2		
救 急 セ ミ ナ ー (心 電 図 コ ー ス)		1		1				
消 防 防 災 に 関 す る 研 修 講 座		0						
潜 水 医 学 講 座		0						
潜 水 業 務 管 理 研 修		2			1		1	
潜 水 技 術 研 修		3	1		1		1	
二級小型船舶・特殊小型船舶操縦士養成研修		2				2		
第 4 8 回 救 急 隊 員 学 術 研 究 会		2		2				
玉 掛 け 技 能 講 習		3					3	
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 技 能 講 習		4				1	3	
第 三 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		2		1	1			
危 険 物 保 安 技 術 講 習 会		1	1					
惨 事 ス ト レ ス 対 策 研 修		1				1		

上記研修は主な研修のみを掲載しております。

消防庁舎概要

部所別	消防本部	消防署	消防通信指令庁舎	小和田出張所
	TEL 85 - 4591 (裏表紙参照)			TEL 82 - 8300
所在地	矢畑 1280 番地の 3			松浪二丁目 3 番 37 号
建築年月日	昭和 56 年 3 月 9 日	昭和 43 年 11 月 13 日	昭和 62 年 3 月 5 日	昭和 40 年 12 月 24 日
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建 (塔屋付)	鉄筋コンクリート造 3 階建 (塔屋付)	鉄筋コンクリート造 3 階建	鉄筋コンクリート造 2 階建
敷地面積	2,671.085㎡			879.33㎡
建築面積	348.34㎡	739.97㎡	265.81㎡	194.98㎡
建築延面積	699.11㎡	1,199.21㎡	503.61㎡	363.05㎡

面積には、付属建物を含む。



消防本部・消防署



消防通信指令庁舎



小和田出張所

小出出張所 TEL53 - 3004	鶴嶺出張所 TEL85 - 8811	松林出張所 TEL52 - 1230	海岸出張所 TEL83 - 3311
行谷1090番地8	今宿 911 番地6	赤羽根 338 番地1	中海岸四丁目2番 41 号
昭和 61 年 3 月 25 日	平成 3 年 3 月 27 日	平成 5 年 3 月 22 日	平成 12 年 10 月 23 日
鉄骨造2階建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄筋コンクリート造2階建
722.39㎡	655.19㎡	1,359.38㎡	778.33㎡
202.981㎡	252.99㎡	267.00㎡	344.58㎡
386.581㎡	408.82㎡	423.40㎡	541.44㎡



小出出張所



鶴嶺出張所



松林出張所



海岸出張所

消防職員の年度別条例定数及び実員

()は再任用職員

年度	定数	実員	年度	定数	実員	年度	定数	実員
S25.4.1	30	30	S53.4.1	119	118	H18.4.1	239	234
S26.4.1	30	30	S54.4.1	129	128	H19.4.1	239	238
S27.11.1	32	32	S55.4.1	139	137	H20.4.1	239	238
S28.7.3	36	36	S56.4.1	149	148	H21.4.1	239	234
S29.4.1	36	44	S57.4.1	155	155	H22.4.1	239	237(2)
S30.4.5	44	44	S58.4.1	159	159	H23.4.1	239	235(3)
S31.4.1	44	44	S59.4.1	159	159			
S32.4.1	44	44	S60.4.1	164	158			
S33.4.1	44	44	S61.4.1	170	170			
S34.4.1	47	46	S62.4.1	175	170			
S35.4.1	47	46	S63.4.1	185	177			
S36.4.1	47	46	H元.4.1	185	182			
S37.4.1	47	47	H2.4.1	193	188			
S38.4.1	49	49	H3.4.1	193	193			
S39.4.1	52	52	H4.4.1	208	200			
S40.10.1	69	62	H5.4.1	218	208			
S41.4.1	69	68	H6.4.1	218	217			
S42.4.1	72	71	H7.4.1	218	218			
S43.4.1	78	75	H8.4.1	218	210			
S44.4.1	82	81	H9.4.1	218	210			
S45.4.1	90	85	H10.4.1	218	210			
S46.4.1	98	97	H11.4.1	218	210			
S47.4.1	100	99	H12.4.1	218	217			
S48.4.1	102	102	H13.4.1	221	220			
S49.4.1	112	110	H14.4.1	221	220(1)			
S50.4.1	114	114	H15.4.1	221	220			
S51.4.1	114	113	H16.4.1	231	230			
S52.4.1	116	114	H17.4.1	231	231			

予 防



幼年消防クラブ
(平成 23 年消防出初式)

MEMO



立入検査実施状況(定期立入検査)

平成22年度

区分 防火対象物			立 入 検 査 対 象 数	立 入 検 査 実 施 件 数	指 導 対 象 物 数	無 指 導 対 象 物 数	指導事項内容内訳						
							指 導 総 数	防 火 管 理 等	消 防 用 設 備	危 険 物 関 係	火 気 使 用 等	電 気 設 備 等	建 築 物 関 係
合 計			4,306	505	359	146	660	368	251	6	1		34
1項	イ	劇場・映画館	2	1	1		1	1					
	ロ	公会堂・集会場	35	15	7	8	25	17	8				
2項	イ	キャバレー・カフェー											
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	3	3		12	7	5				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等											
	ニ	個室形態の業務を営む店舗	4										
3項	イ	待合・料理店											
	ロ	飲食店	65	7	5	2	19	12	6				1
4項		百貨店・マーケット	147	10	7	3	20	13	4				3
5項	イ	旅館・ホテル	15	4	3	1							
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,619	284	194	90	235	115	113	6			1
6項	イ	病院・診療所	55	7	5	2	7	3	4				
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	29	2	1	1	1						1
	ハ	老人デイサービスセンター・児童福祉施設等	48	1	1		2	1	1				
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	19	1		1	1	1					
7項		小・中・高・大・各種学校	45	1	1								
8項		図書館・博物館	4										
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2	1	1		4	3	1				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3	1	1		2	1	1				
10項		車両停車場	1										
11項		神社・寺院・教会	47	8	8		8	1	7				
12項	イ	工場・作業所	179	9	4	5	6	3	3				
	ロ	映画・テレビスタジオ											
13項	イ	自動車庫庫・駐車場	6										
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫											
14項		倉庫	63	5	3	2	2	1	1				
15項		前各項に該当しない事業所	182	10	6	4	13	9	3				1
16項	イ	特定複合用途防火対象物	544	130	105	25	294	176	91		1		26
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	181	5	3	2	8	4	3				1
17項		重要文化財・重要民俗資料	2										

延べ面積150㎡未満を除く

防火管理者選任状況

平成22年度

防火対象物		区分	防火管理者選任 義務事業所数	選任済み 事業所数	平成22年度中の届出		
					防火管理者 選任解任届	消防計画 作成変更届	共同防火管理 協議事項作成変更届
合 計			1008	532	272	280	5
1項	イ	劇 場 ・ 映 画 館	2	2			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	25	21	11	14	
2項	イ	キャバレー・カフェー					
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	8	6	3	2	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等 二 個室形態で業務を営む店舗	4	3			
3項	イ	待 合 ・ 料 理 店					
	ロ	飲 食 店	57	38	23	19	
4項	×	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	83	63	32	33	
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	10	8	4	4	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	246	94	51	49	
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所	22	15	3	2	
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	26	26	1	1	
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設等	36	34	16	17	
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	19	19	4	4	
7項	×	小・中・高・大・各種学校	43	42	26	25	
8項	×	図 書 館 ・ 博 物 館	3	2			
9項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	1	1	1	1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1			
10項	×	車 両 停 車 場	1	1	1	1	
11項	×	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	27	9	2	2	
12項	イ	工 場 ・ 作 業 所	52	28	4	7	
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ					
13項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			1	1	
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫					
14項	×	倉 庫	4	1			
15項	×	前各項に該当しない事業所	59	38	28	29	
16項	イ	特定複合用途防火対象物	258	74	59	67	5
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	21	6	2	2	
17項	×	重要文化財・重要民俗資料					

届出状況

平成22年度

種別	月別												
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計	711	40	43	63	64	61	54	65	80	80	52	69	40
道 路 工 事 届	487	27	29	44	44	48	35	43	52	49	28	53	35
火 煙 発 生 届	96	5	2	3	7	5	5	12	13	21	17	4	2
煙 火 打 上 届	19		2	1	3	4	1	5	1	2			
催 物 開 催 届	2		1					1					
火気使用等許可申請書	24	1	3	2	6	1	3	1		2	1	4	
開発行為事前協議願書	83	7	6	13	4	3	10	3	14	6	6	8	3

届出状況（予防課・指導課）

平成22年度

種別	月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計		2,870	279	233	238	236	197	208	221	251	281	158	258	310
防火管理者選任解任届		272	45	23	37	18	21	24	14	15	22	18	14	21
防災管理者選任解任届		3	1	2										
消防計画作成変更届		280	38	25	32	22	18	25	17	15	24	27	14	23
自衛消防組織設置変更届		5		2		1			1		1			
消防設備等点検結果報告書		1,079	99	91	77	82	69	64	113	123	130	65	67	99
防火対象物点検結果報告書		86	8	6	2	6	6	6	11	4	7	5	7	18
防災管理点検結果報告書		3		1							1			1
工事整備対象設備等着工届		174	12	18	17	12	15	14	13	13	14	6	24	16
消防用設備等設置届		381	29	23	27	19	23	32	15	32	23	11	85	62
防火対象物使用開始届		243	13	16	15	14	15	17	17	22	34	10	27	43
電気設備設置届		34	2	2	1	1	4	1	4		9	2	3	5
火を使用する設備等設置届		24	5	2	6		1	1		4	1		2	2
液化石油ガス等の届出等		33	3	1	2	1	4	5	1	2		3	5	6
指定数量以上の危険物申請等		225	20	20	20	57	19	19	9	15	13	10	10	13
指定数量未満の危険物届出等		28	4	1	2	3	2		6	6	2	1		1

訓練用品貸出状況

平成22年度

		訓練用品				119番 通報訓練
		訓練用 水消火器	訓練用 水消火器的	火災予防啓発用 ビデオテープ	幼児向け 絵本・紙芝居等	
合 計		217	111	30	1	130
1項	イ					
	ロ	45	24	3		22
2項	イ					
	ロ	4	2	1		3
	ハ					
	ニ					1
3項	ロ	3	3	1		4
4項		7	2			12
5項	イ	7	6	1		4
	ロ	26	12			6
6項	イ	8	4			2
	ロ	20	14	5		12
	ハ	41	16	12	1	26
	ニ	6	2			2
7項		10	4	2		1
8項		2	1			1
9項	イ					
	ロ					
10項						
11項		2				
12項	イ	9	5			12
	ロ					
13項	イ					
	ロ					
14項						
15項		6	4	3		4
16項	イ	21	12	2		18
	ロ					
17項						

貸出用品

平成23年4月現在

訓練用水消火器・的等

分類	数量
訓練用水消火器【コンプレッサーによる充てんタイプ】	15本
訓練用水消火器【水道の水圧による充てんタイプ】	7本
訓練用水消火器【水道の水圧による充てんタイプ】充てん専用ホース	5本
訓練用水消火器用的(既製品)	3台
訓練用水消火器用的(指導課製作品)	3台

幼児向け絵本・紙芝居等

分類		数量
紙芝居	紙芝居「もりのしょうぼうだん」(既製品:CD附属)	3セット
絵本	絵本「ふたごのゆうどうとう」【A4サイズ】	2冊
	絵本「ふたごのゆうどうとう」【A3サイズ】	1冊
カードゲーム	防災用カードゲーム ぼうさいダック【B4サイズ】	4セット
	防災用カードゲーム ぼうさいダック解説用ビデオテープ	2本

火災予防啓発用ビデオテープ

分類	種別	タイトル	制作年	時間
住宅防火	VHS	うっかり家の人々 - 住宅防火診断のすすめ -	平成3年	20分
	VHS	うっかり町は大騒ぎ - 住宅防火診断のすすめ -	平成4年	20分
	VHS	うっかり町の屋根の下 - 住宅防火のすすめ -	平成5年	25分
	VHS	住宅火災から学ぶ	平成6年	25分
	VHS	住宅防火 あなたの家庭は大丈夫?	平成7年	20分
	VHS	家族de防火	平成8年	20分
	VHS	尊い命をまもるために! (住宅用火災警報器)	平成17年	15分
	VHS	家族でガッテン 住宅防火	不明	25分
	VHS	危険がいっぱい - わが家の事故防止対策 -	不明	21分
子供向け	VHS	ケンちゃんと防災家族	平成2年	18分
	VHS	トンクルビーのじしんようじん	平成8年	11分
	VHS	わんわん火事だ わん	不明	18分
	VHS	レスキューQ太のかつやく	平成10年	15分
	DVD	ニャンパラの仲間たち	平成10年	12分
	DVD	ごめんね チッチ	平成12年	11分
	DVD	みらいしょうぼうし キュータ	平成13年	12分
	DVD	ショウホーグ119号と学ぶ火災予防～ショウホーグ119号とほのおうじ～	平成22年	15分
地震	VHS	検証 阪神・淡路大震災と消防	平成8年	30分
	VHS	20世紀 日本の地震災害	平成12年	56分
	VHS	安全のデザイン - 職場の地震対策 -	不明	15分
防火管理	VHS	わたしたちの防火	平成2年	35分
	DVD	認知症高齢者グループホーム等における防火安全対策	平成20年	18分
	VHS	自衛消防訓練の実施	不明	20分
	VHS	工場防火を考える	不明	25分
	VHS	あなたは今日から防火管理者	不明	16分
	VHS	大型店舗 防火管理の知識	不明	16分
	VHS	ホテル・旅館 防火管理の知識	不明	16分
	VHS	火災を断つ 正しい消火の技術を学ぶ	不明	18分
	VHS	火災・煙・有毒ガス 検証 新宿歌舞伎町ビル火災	不明	22分
	VHS	火災から高齢者を守る 検証 長崎グループホーム火災	不明	21分
	VHS	消防設備等の取り扱い	不明	20分
	VHS	放火を防ぐ・住民の手…安全で安心なまちづくり	不明	25分
	VHS	思わぬ火もと 高齢社会・増え続けている電気火災	不明	20分
	VHS	火災!逃げ遅れを防げ! 増加している高齢者住宅火災	平成21年	21分
	DVD	火災事例に学ぶ	平成21年	32分
	DVD	防火管理者の仕事	平成21年	29分
	DVD	防火管理者の行動	平成21年	23分
	DVD	火気管理	平成21年	20分
	DVD	日々の安心は日頃の防火意識から 防火管理の意義と制度	平成21年	20分
	VHS	充実した防火管理を行うために 消防計画の作成要領	平成21年	20分

平成22年度防火ポスター・作文コンクール応募作品数

内容 \ 区分	小学生	中学生	合計
防火ポスター	392	130	522
防火作文	19	22	41

作文入賞者

小学生の部

市長賞	緑が浜小学校	辻 海斗	「防火について」
教育長賞	鶴 嶺小学校	勝俣 莉奈	「私たちが火事を防ぐ」
消防長賞	小和田小学校	宇治川 えみ	「消防の人に感謝」
危険物安全協会賞	浜之郷小学校	内田 唯花	「火事について」

中学生の部

市長賞	松 浪中学校	中川 裕紀子	「母が体験した火事の話聞いて」
教育長賞	鶴 嶺中学校	加藤 嵩士	「あたりまえな『防火』」
消防長賞	鶴が台中学校	久米 百香	「火事と私の家族」
危険物安全協会賞	中 島中学校	鈴木 碧海	「夏の恐怖から」

ポスター入賞者

【市長賞】

小学1・2年生の部



緑が浜小学校 平野 元稀

小学3・4年生の部



松林小学校 日比 恵海

小学 5・6 年生の部



梅田小学校 野田 美波

中学 1 年生の部



鶴が台中学校 森下 泰利

中学校 2 年生の部



鶴が台中 2 年 澄川 泰知

中学校 3 年生の部



鶴嶺中学校 内藤 遥一郎

ポスター入賞者

【教育長賞】

小学１・２年生の部



香川小学校 飯田 妃香

小学３・４年生の部



柳島小学校 古川 稜斗

小学５・６年生の部



西浜小学校 小林 桃子

中学１年生の部



鶴が台中学校 岡本 みなみ

中学校２年生の部



梅田中学校 小島 志穂

中学校３年生の部



梅田中学校 吉田 陽

建 築

特殊建築物確認申請月別

(面積㎡ = 小数点第1位を四捨五入)

平成22年度

区分 月別	合計		新築		増築(敷地)		増改築(建家)		用途変更		計画通知		計画変更	許可申請
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	件数
合 計	357	85,771	210	76,221	11	2,849	5	445	3	768	20	5,490	73	35
4月	61	7,241	17	2,799.0	3	1,819.3					1	2,622.7	36	4
5月	38	4,094	21	4,077.1	1	16.6							1	15
6月	24	3,654	11	3,487.8	2	61.2					6	104.6	4	1
7月	27	6,515	20	6,347.4	1	28.9					4	138.7		2
8月	23	6,941	18	6,127.0	2	813.7							1	2
9月	42	27,088	27	24,356.5			1	58.5	1	253.4	2	2,419.5	10	1
10月	17	6,414	15	6,313.2	1	95.9	1	5.2						
11月	19	3,144	17	3,119.6			1	24.0					1	
12月	36	5,165	17	4,699.6					1	391.7	3	73.8	9	6
1月	26	5,814	18	5,536.2			1	237.3			2	40.0	5	
2月	17	1,764	10	1,750.8	1	12.9							4	2
3月	27	7,939	19	7,606.7			1	119.6	1	122.6	2	90.4	2	2

特殊建築物確認申請用途別

(面積㎡ = 小数点第1位を四捨五入)

平成22年度

用途別		合計		新築		増築(敷地)		増改築(建物)		用途変更		計画通知		計画変更	許可申請
		件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	件数
合 計		357	85,771	210	76,221	11	2,849	5	445	3	768	20	5,490	73	35
1項	イ 劇 場 ・ 映 画 館														
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	2	556	1	556									1	
2項	イ キャバレー・カフェー														
	ロ 遊 技 場 ・ ダンスホール														
	ハ 風 俗 営 業 等														
3項	イ 待 合 ・ 料 理 店														
	ロ 飲 食 店	2	1,090	1	1,090										1
4項	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	32	3,479	28	3,356					1	123				3
5項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル														
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	165	30,760	112	30,760									49	4
6項	イ 病 院 ・ 診 療 所	2	416					1	24	1	392				
	ロ 老人短期入所施設・重 症心身障害児施設等	9	6,830	6	6,830									1	2
	ハ 老人デイサービスセンター・ 児童養護施設等	6	2,224	3	1,110	2	1,114								1
	ニ 幼稚園・特別支援養護学校	3	2,807	2	2,807										1
7項	小・中・高・大・各種学校	7	1,371	2	1,313			1	59					4	
8項	図 書 館 ・ 博 物 館														
9項	イ 蒸気浴場・熱気浴場等														
	ロ イに揚げる公衆浴場 以外の公衆浴場														
10項	車 両 停 車 場														
11項	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	12	20,203	7	19,091	4	875	1	237						
12項	イ 工 場 ・ 作 業 所	9	921			2	801	1	120					6	
	ロ 映画・テレビスタジオ														
13項	イ 自動車車庫・駐車場	4	79	2	67							1	12	1	
	ロ 飛行機・回転翼航空機 の格納庫														
14項	倉 庫	3	100	1	54	2	46								
15項	前各号に該当しない 事業所	82	9,261	36	6,140	1	13					18	3,108	4	23
16項	イ 特定複合用途防火 対象物	16	4,031	7	1,656			1	5			1	2,370	7	
	ロ 上記以外の複合用途 防火対象物	2	1,392	2	1,392										
17項	重 要 文 化 財 ・ 重 要 民 俗 資 料														

一般建築物確認申請月別

平成22年度

種別 月別	合計		新築		増築(敷地)		増改築(建家)		計画変更	許可申請
	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	件数
合計	1,088	108,052	984	106,583	12	1,182	7	286	74	11
4月	105	10,170	92	10,047.2	1	122.3			10	2
5月	79	7,989	72	7,885.2	1	104.1			6	
6月	90	8,751	84	8,750.5					3	3
7月	104	9,823	92	9,744.9	1	78.3			9	2
8月	111	12,366	109	12,366.0					2	
9月	101	9,295	88	9,269.9			1	25.3	12	
10月	98	10,202	84	9,777.6	3	424.0			10	1
11月	103	10,505	100	10,424.7			2	79.8	1	
12月	75	7,666	68	7,437.1	1	157.3	1	71.2	5	
1月	70	6,855	61	6,754.4	2	83.7	2	16.6	3	2
2月	69	6,116	58	5,995.1	1	27.3	1	93.5	8	1
3月	83	8,316	76	8,130.7	2	184.9			5	

* 許可申請の面積は合計に含まれません。

中高層・地階建築物用途別(棟)

平成22年度

階数		総数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	合計	地下 2階	地下 3階
防火対象物																		
合 計		5,377	317	336	80	37	33	8	11	15	2	5	10	6	1	861	3	3
1項	イ 劇 場 ・ 映 画 館	2																
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	44	2	1												3		
2項	イ キャバレー・カフェー																	
	ロ 遊 技 場 ・ ダンスホール	10	1													1		
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等																	
	ニ 個室形態の業務を営む店舗	4																
3項	イ 待 合 ・ 料 理 店																	
	ロ 飲 食 店	68	2													2		
4項	百貨店・マーケット	156	2	2	1											5		
5項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル	16		3						1						4		
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	2,981	133	239	28	21	25	6	7	13	2	4	7	6	1	492	2	
6項	イ 病 院 ・ 診 療 所	64	10	3	1	2										16		
	ロ 老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	31	6	3	1											10		
	ハ 老人デイサービスセンター・児童福祉施設等	67		1	1											2		
	ニ 幼稚園・特別支援養護学校	31																
7項	小・中・高・大・各種学校	128	34	3												37		
8項	図 書 館 ・ 博 物 館	4																
9項	イ 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	2		2												2		
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4																
10項	車 両 停 車 場	1																
11項	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	66																
12項	イ 工 場 ・ 作 業 所	382	15	5	7	3										30		1
	ロ 映 画 ・ テレビスタジオ																	
13項	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	28	1			1										2		
	ロ 飛行機・回転翼航空機の格納庫																	
14項	倉 庫	130	1													1		
15項	前各項に該当しない事業所	421	21	7	2	1	2									33		2
16項	イ 特定複合用途防火対象物	557	68	54	31	8	5	2	4	1		1	3			177	1	
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	178	21	13	8	1	1									44		
17項	重要文化財・重要民族資料	2																

「総数」は3階以下の建物を含む市内全体の棟数、「合計」は4階以上の棟数となります。

危険物施設
倍数別危険物施設数(完成検査済施設)

平成22年度

製造所等 の別 区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所			販売取扱所	一般取扱所
												営業用	自家用	鉄道		
施設数	242	7	144	56	19	5	46	5	7	6	91	21	13		2	55
5倍以下	85		63	25	1	4	20	5	7	1	22		1		2	19
5倍を超え 10倍以下	68	2	31	12	2		12			5	35		4			31
10 " 50 "	50	1	36	16	8	1	11				13		8			5
50 " 100 "	8	1	5		2		3				2	2				
100 " 150 "	7	2	3	1	2						2	2				
150 " 200 "	9		4	2	2						5	5				
200 " 1000 "	15	1	2		2						12	12				
1000 " 5000 "																

類別危険物施設数(完成検査済施設)

平成22年度

製造所等の別 区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所						
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所			販売取扱所	一般取扱所
													営業用	自家用	鉄道		
施設数		242	7	144	56	19	5	46	5	7	6	91	21	13		2	55
単独	第1類																
	第2類	2		2	2												
	第3類																
	第4類	225	2	136	48	19	5	46	5	7	6	87	21	13		2	51
	第5類																
	第6類																
混在		15	5	6	6							4					4

危険物申請手数料収入状況

手数料単位（円）

平成 2 2 年度

手数料の 区分 製造所 等の区分		合計	許可		完成検査		仮使用 承認	完成検査 前検査		仮貯蔵 ・ 仮取扱
			設置	変更	設置	変更		水張	水圧	
合計	件数	68	3	18	5	17	12	2	10	1
	手数料	982,200	117,000	399,000	91,000	193,000	64,800	17,000	95,000	5,400
製造所	件数	21		6		6	3	2	4	
	手数料	376,950		206,500		103,250	16,200	17,000	34,000	
屋内貯蔵所	件数	12		4		4	4			
	手数料	86,100		43,000		21,500	21,600			
屋外タンク 貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
屋内タンク 貯蔵所	件数	3		1		1	1			
	手数料	24,900		13,000		6,500	5,400			
地下タンク 貯蔵所	件数	3		1	1		1			
	手数料	31,400		13,000	13,000		5,400			
簡易タンク 貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
移動タンク 貯蔵所	件数	2		1		1				
	手数料	19,500		13,000		6,500				
屋外貯蔵所	件数	2	1		1					
	手数料	19,500	13,000		6,500					
給油取扱所	件数	14	2	2	2	2	1		5	
	手数料	294,400	104,000	52,000	52,000	26,000	5,400		55,000	
販売取扱所	件数	0								
	手数料	0								
一般取扱所	件数	10		3	1	3	2		1	
	手数料	124,050		58,500	19,500	29,250	10,800		6,000	
その他	件数	1								1
	手数料	5,400								5,400

MEMO



警 防



緊 急 消 防 援 助 隊

MEMO



開発事業

開発行為の指導目的

建築及び開発行為に関し、消防活動上必要な設備等の設置を指導することにより、秩序あるまちづくりの促進を図り、もって安全な都市環境を形成することを目的としています。

開発協議に関する事項

茅ヶ崎市まちづくり条例・都市計画法に基づく 開発事前協議		平成21年度	平成22年度
窓 口 事 前 協 議 件 数		82	114
協議書提出数	合 計	62	83
	指示なし	43	69
	指示あり	19	14

窓口での事前相談及び事前協議願書の提出件数

指 示 内 容		平成21年度	平成22年度
義務設置	消 火 栓	1	0
	防 火 水 槽(40t以上)	5	5
	その他の水利	0	0
	消 防 活 動 空 地	6	3
	消防活動空地(代替)	9	7
任意設置	解錠用専用箱	6	6
	エレベーターランクボックス	9	7
	ホバリングスペース	1	0

事前協議を終了している指示件数

消防施設設置数	平成21年度	平成22年度
消 火 栓	1	0
防 火 水 槽(40t以上)	2	3
その他の水利	1	1
消防活動空地	3	6
消防活動空地(代替)	6	8
解錠用専用箱	8	5
エレベーターランクボックス	4	6
ホバリングスペース	0	0

年度内に完了検査を実施した件数

水 利

消防水利設置数（公設・私設）

平成22年度

区分		合計	公設	私設
合計		3,080	2,559	521
消火栓	計	2,429	2,311	118
	基準内	989	960	29
	基準外	1,440	1,351	89
防火水槽	計	568	215	353
	基準内	461	178	283
	100m ³ 以上	35	24	11
	60m ³ 以上	56	10	46
	40m ³ 以上	370	144	226
	基準外	107	37	70
	20m ³ 以上	101	32	69
	20m ³ 未満	6	5	1
その他の水利	計	83	33	50
	プール	42	33	9
	その他	41		41

私設防火水槽の増については、平成17年度までは、消防水利指定承諾書の提出数であったが、平成18年度からは、開発行為に伴い設置したもの全てを加えた。

公設消火栓現有数

平成22年度

口径 管区	合計	基準外数			基準内数										
		計	75 mm	100 mm	計	150 mm	200 mm	250 mm	300 mm	350 mm	400 mm	450 mm	500 mm	600 mm	700 mm
合 計	2,311	1,351	5	1,346	960	443	285	18	83	5	48	5	12	46	15
本 署 管 内	549	301		301	248	103	93	7	16		28		1		
小和田管内	422	265		265	157	77	15	3	15	1	19		3	14	10
小 出 管 内	321	216	1	215	105	47	39		19						
鶴 嶺 管 内	185	113		113	72	25	28		1	1				17	
松 林 管 内	457	253		253	204	102	70		3	3	1	5	8	7	5
海 岸 管 内	377	203	4	199	174	89	40	8	29					8	

公設防火水槽現有数

平成22年度

容量 管区	合計	基準外			基準内			
		計	10 ~ 19 m ³	20 ~ 39 m ³	計	40 ~ 59 m ³	60 ~ 99 m ³	100以上 m ³
合 計	215	37	5	32	178	144	10	24
本署管区	58	6	1	5	52	44	4	4
小 和 田 管 区	28	3		3	25	21		4
小出管区	46	17	2	15	29	26	2	1
鶴嶺管区	15				15	11		4
松林管区	41	10	2	8	31	25	1	5
海岸管区	27	1		1	26	17	3	6

車両配置別内訳

平成23年4月1日現在

種別	総数	本部	本署	小和田出張所	小出出張所	鶴嶺出張所	松林出張所	s	備考
消防ポンプ自動車	7		1	1	1	2	1	1	
非常用消防ポンプ自動車	1			1					
水槽付消防ポンプ自動車	2		1				1		
指揮車	1		1						
化学消防車	1		1						
梯子付消防自動車	2		1					1	
救助工作車	2		1					1	
高規格救急自動車	6		1	1	1	1	1	1	
非常用高規格救急自動車	1		1						
資機材搬送車	2	1						1	
特殊災害対応自動車	1		1						
人員搬送車	0								
広報車	4	4							
緊急車両以外の車両	5	3	1					1	
合計	35	8	10	3	2	3	3	6	

車両別内訳 (常備)

平成23年4月1日現在

配 置		種 別	名 称	シャシメーカー	車両総重量 (kg)	購入 年度	登録番号	緊急車両 登録	備考
消防本部	消防総務課	乗用車	-	トヨタ	1,695	H10	湘南300さ3279	-	H20 本庁より転活
		連絡車	-	ホンダ	1,515	H15	湘南501す8674	-	
	予防課	軽査察車	-	スバル	1,350	H10	湘南40 か 8453	-	
	救命課	広報車	予防1	ニッサン	3,085	H19	湘南800す4525	○	
			救命1	ニッサン	2,450	H18	湘南800す3350	○	
			警防1	ニッサン	2,480	H18	湘南800す3351	○	
			警防2	ニッサン	1,715	H18	湘南800す3374	○	
		資機材搬送車	警防資機材1	三菱	6,045	H19	湘南800す4243	○	
消防署	指導課	資機材搬送車	-	ホンダ	1,485	H13	湘南800さ7025	○	
		軽自動車	-	ニッサン	1,390	H21	湘南480か7078	-	
	本署	指揮車	指揮1	トヨタ	3,150	H11	湘南800さ3652	○	
		消防ポンプ自動車	本署1	イズズ	5,290	H8	湘南88さ3547	○	
		水槽付消防ポンプ自動車	本署2	日野	9,405	H18	湘南800 は 448	○	
		化学消防車	化学1	イズズ	10,205	H9	湘南88 な 247	○	
		3.5m梯子付消防自動車	梯子1	ニッサン	19,870	H15	湘南830 は 119	○	
		救助工作車	救助1	日野	10,685	H18	湘南800 は 451	○	緊急消防援助隊登録車両
		高規格救急自動車	本署救急1	トヨタ	3,135	H18	湘南800す4621	○	
			救急3	トヨタ	2,875	H13	湘南800さ7015	○	非常用車両
		特殊災害対応自動車	-	日野	7,145	H21	湘南800す6033	○	
	小和田出張所	消防ポンプ自動車	小和田1	日野	5,885	H21	湘南800す5887	○	消防ポンプ付救助自動車
			小和田2	イズズ	5,290	H8	湘南88 さ 3548	○	非常用車両
		高規格救急自動車	小和田救急1	トヨタ	3,015	H17	湘南800す2805	○	
	小出出張所	消防ポンプ自動車	小出1	三菱	6,940	H18	湘南800す3801	○	
		高規格救急自動車	小出救急1	トヨタ	3,015	H16	湘南830 す 99	○	
	鶴嶺出張所	消防ポンプ自動車	鶴嶺1	日野	6,600	H13	湘南800さ6970	○	
			鶴嶺2	日野	5,255	H23	湘南800す6533	○	
		水上オートバイ用トレーラー	-	ホンダ	460	H13	湘南80 を 323	-	
		高規格救急自動車	鶴嶺救急1	ニッサン	3,235	H21	湘南800す5834	○	緊急消防援助隊登録車両
	松林出張所	消防ポンプ自動車	松林1	日野	6,640	H20	湘南800す5318	○	
		水槽付消防ポンプ自動車	松林2	三菱	9,195	H17	湘南800 は 370	○	緊急消防援助隊登録車両
		高規格救急自動車	松林救急1	トヨタ	3,135	H20	湘南800す5270	○	
	海岸出張所	消防ポンプ自動車	海岸1	三菱	6,570	H14	湘南800さ8933	○	緊急消防援助隊登録車両
		水難救助工作車	水難1	イズズ	10,040	H23	湘南800は648	○	
		2.5m屈折梯子付消防ポンプ自動車	屈折1	三菱	17,610	H3	相模88 な 3404	○	
		高規格救急自動車	海岸救急1	ニッサン	3,325	H15	湘南800 す 546	○	

通信 有線系

名 称	内 容
総合指令台	自動出動指定装置CRT・地図検索装置CRT
火災救急専用電話 119及び119番FAX	茅ヶ崎局系・松林局系(10回線)
指令室専用FAX	85-1112(1回線)
一般加入電話	85-4591(23回線)
テレドーム(火災情報)	0180-99-4591(1回線)
テレフォンダイヤル(救急情報)	85-0119(3回線)
指令専用回線	小和田・小出・鶴嶺・松林・海岸出張所(5回線)
ワンタッチ	警察署・他関係各機関(500回線)
地域気象情報装置	端末(1台)
県防災FAX(有線系)	FAX←市役所←県庁
防災専用電話機	通信指令室(1回線)
不在時対応電話	小和田・小出・鶴嶺・松林・海岸(5回線)

無線系

名 称	内 容
無線	全国波(全共1・2・3)・県内波
無線統制台基地局(ちがさきしょうぼう)	市内波・救急波
市防災行政用無線	遠隔制御器→市役所
県防災FAX(無線系)	FAX←市役所←県庁

無線系 移動局

無線番号	車両名等
茅ヶ崎指揮 1	調査班
茅ヶ崎本署 1	第一小隊
茅ヶ崎本署 2	第二小隊
茅ヶ崎化学 1	化学車
茅ヶ崎救助 1	救助工作車
茅ヶ崎梯子 1	梯子車3.5m
茅ヶ崎小和田 1	小和田小隊
茅ヶ崎小和田 2	小和田小隊
茅ヶ崎小出 1	小出小隊
茅ヶ崎鶴嶺 1	鶴嶺小隊
茅ヶ崎鶴嶺 2	鶴嶺小隊
茅ヶ崎松林 1	松林小隊
茅ヶ崎松林 2	松林小隊
茅ヶ崎海岸 1	海岸小隊
茅ヶ崎屈折 1	屈折梯子車2.5m
茅ヶ崎水難 1	救助工作車
茅ヶ崎本署救急 1	本署救急小隊
茅ヶ崎小和田救急 1	小和田救急小隊
茅ヶ崎鶴嶺救急 1	鶴嶺救急小隊
茅ヶ崎松林救急 1	松林救急小隊
茅ヶ崎海岸救急 1	海岸救急小隊
茅ヶ崎小出救急 1	小出救急小隊
茅ヶ崎救急 3	予備車

無線番号	車両名等
茅ヶ崎予防 1	広報車
茅ヶ崎警防 1	広報車
茅ヶ崎警防 2	広報車
茅ヶ崎救命 1	広報車
茅ヶ崎警防資機材 1	資機材搬送車
茅ヶ崎水難 2	資機材搬送車
茅ヶ崎特災 1	特殊災害対応自動車
茅ヶ崎指令 1	可搬型無線機
↓	
茅ヶ崎指令 9	携帯型無線機
茅ヶ崎警防携帯 1	
↓	消防団
茅ヶ崎小出救急携帯 1	
茅ヶ崎 201	
↓	消防団
231	

主な消防用資機材一覧

積載車両	種別	品名
救助工作車	一般救助器具	かぎ付き梯子
		三連梯子
		ワイヤー梯子
		救命索発射銃
		サイバースリング
		平担架
		ロープ
		カラピナ
		滑車
	重量物排除用器具	油圧ジャッキ
		油圧スプレッダー
		可搬ウィンチ
		ワイヤーロープ
		マンホール救助器具
		マット式空気ジャッキ
		救助用支柱器具
	破壊用器具	破壊斧
		ハンマー
		削岩機
		ハンマードリル
	切断用器具	油圧切断機
		エンジンカッター
		ガス溶断機
		チェーンソー
		鉄線カッター
		空気鋸
	呼吸・隊員用保護用器具	空気呼吸器
		送排風機
		革手袋
		安全帯
		防塵メガネ
		携帯警報器
	検知測定用器具	可燃性ガス測定器

積載車両	種別	品名
救助工作車	その他の救助用器具	投光器一式
		携帯投光器
		携帯拡声器
		携帯無線機
		応急処置用セット
		緩降機

水難救助工作車	水難救助器具	潜水器具一式
		救命胴衣
		水中投光器
		救命浮環
		浮標
		救命ボート
		船外機
		水中時計

高規格救急自動車	高度救命処置用資機材	半自動除細動器
		輸液ポンプ
		人工呼吸器
		吸引器
		酸素吸入器
		メインストレッチャー
		スクープストレッチャー
		バックボード
		車載用FAX
		心電図伝送装置
		ベッドサイドモニター
		血中酸素飽和度測定器
		屋内塗装用自動噴霧器

防 災 対 策



平成 22 年度総合防災訓練

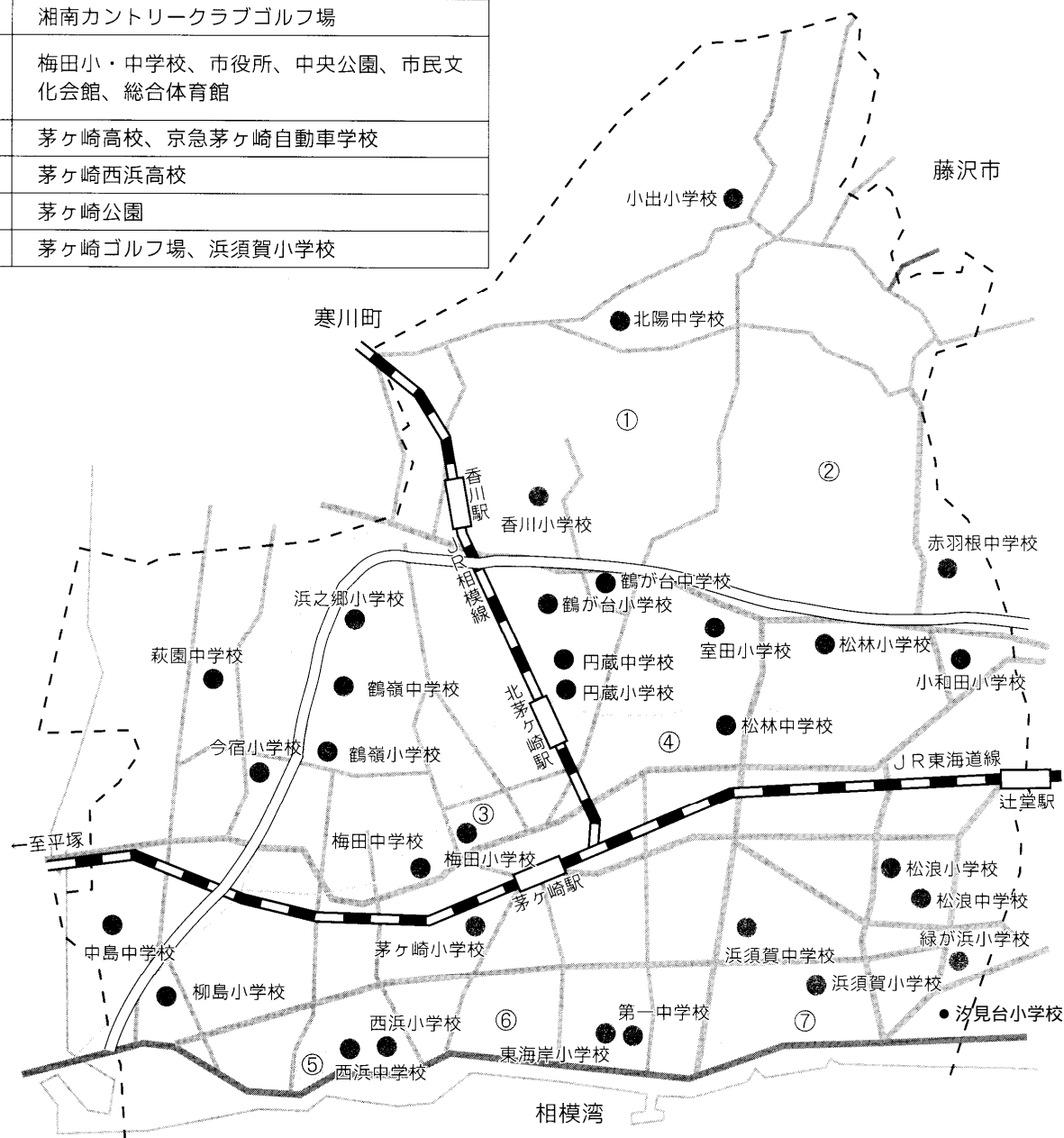
MEMO



広域避難場所・避難所位置図

地震による延焼火災から身を守るため避難する場所

番号	名 称
①	スリーハンドレッドクラブゴルフ場
②	湘南カントリークラブゴルフ場
③	梅田小・中学校、市役所、中央公園、市民文化会館、総合体育館
④	茅ヶ崎高校、京急茅ヶ崎自動車学校
⑤	茅ヶ崎西浜高校
⑥	茅ヶ崎公園
⑦	茅ヶ崎ゴルフ場、浜須賀小学校



●避難所（地区防災拠点）

災害時の避難、救護、情報の拠点及び住宅が被害を受け居住の場を失った人が避難生活をする場として市内の公立小学校19校、公立中学校13校を避難所（地区防災拠点）に指定しています。また、避難所のうち中学校は、医療救護所を兼ねています。

平成23年4月1日より汐見台小学校が追加しました。

災害用耐震性プール

(平成23年3月31日現在)

設置場所	貯水量(m ³)	設置場所	貯水量(m ³)	設置場所	貯水量(m ³)
茅ヶ崎小学校	335	小和田小学校	325	西浜中学校	390
鶴嶺小学校	337	円蔵小学校	345	赤羽根中学校	390
松林小学校	384	今宿小学校	345	萩園中学校	390
西浜小学校	347	室田小学校	345	県立茅ヶ崎高校	516
小出小学校	425	東海岸小学校	193	県立茅ヶ崎北陵高校	450
松浪小学校	345	浜之郷小学校	345	県立鶴嶺高校	400
梅田小学校	332	緑が浜小学校	291	殿山公園	520
香川小学校	337	汐見台小学校	325	小和田浜公園	290
浜須賀小学校	345	第一中学校	393	屋内温水プール	350
鶴が台小学校	345	鶴嶺中学校	393	湘南スイミングスクール	300
柳島小学校	345	松林中学校	393	林水泳教室	300
				合 計	11,866

飲料水兼用貯水槽

(平成23年3月31日現在)

区分 年度	設置場所	設置数	水槽容量	区分 年度	設置場所	設置数	水槽容量
平成元年度	中央公園	1	100m ³	平成5年度	茅ヶ崎公園野球場	1	100m ³
2年度	浜須賀中学校	1	"	6年度	浜之郷公園	1	"
3年度	萩園中学校	1	"	8年度	西浜中学校	1	"
4年度	東小和田公園	1	"	12年度	緑が浜小学校	1	"
				合 計		8	800m ³

防 災 無 線

戸別受信機 309台

地域防災無線 基地局2台(半固定機)、半固定機130台、携帯機58台、車載機10台:計200台

屋外拡声子局地区別設置数

地区名	茅ヶ崎地区	南湖地区	海岸地区	鶴嶺東地区	鶴嶺西地区	湘南地区	松林地区	湘北地区	小和田地区	松浪地区	浜須賀地区	小出地区	合 計
設置数(基)	10	6	8	13	9	9	12	9	3	11	6	19	115

防災備蓄倉庫設置状況

・防災倉庫 40カ所

(市総合体育館・茅ヶ崎公園野球場・消防本部・市役所・中央公園・小出皆楽荘)

・防災コンテナ倉庫等 43カ所

(小学校19校・中学校13校・高等学校5校・小出暫定広場・消防小和田出張所・消防小出出張所・TOTO株式会社茅ヶ崎工場・宮田工業株式会社・社会福祉法人翔の会「空と海」)

防災備蓄倉庫備蓄状況

(平成23年3月31日現在)

資機材名	数量	備考	資機材名	数量	備考
ろ水機	64	市40+学校24(プール)	毛布	16,852	
給水ポンプ	13	飲料水兼用貯水槽	掛矢	124	径165mm
給水タンク	6	1m ³ 用2・0.5m ³ 用4	スコップ	91	
炊飯器	42	プロパンガス まき兼用	金デコ棒	164	六角1,500mm
テント	39		ノコギリ	163	先丸360mm
シート	1,164	ビニールシート 3.6m×5.4m	担架	225	白帆布
ゴザ	336	6畳用ビニール製	ツルハシ	73	

研修・訓練

平成22年度

曜日別実施状況

種別 地区別		実技・研修回数	実技	研修	防災講話	消火器取扱	救急救助訓練	起震車体験	防災映画ビデオ	給食給水	情報伝達	避難誘導	資機材取扱い	その他	曜日	実施回数
全体合計(189回)		33	19	14	13	12	13	16	4	12	1	13	15	14	日	12
連合会名	茅ヶ崎地区	3	2	1		2	2	2		2		2	2	2	月	3
	南湖地区	2	1	1	1	1	1	1		1		1	1	1	火	2
	海岸地区	3	2	1	1	1	1	1		1		1	2	1	水	1
	鶴嶺東地区	2		2	2										木	2
	鶴嶺西地区	3	1	2	1	1	1	1				1	1	1	金	1
	湘南地区	3	2	1		1	1	2		1		1	1	1	土	12
	松林地区	3	3			1	1	2		1		1	2	1	合計	33
	湘北地区	1	1			1	1	1		1		1	1	1		
	小和田地区	1	1			1	1	1	1	1		1	1	1		
	松浪地区	5	1	4	1	1	1	1	2	1		1	1	1		
	浜須賀地区	2	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1		
	小出地区	1	1			1	1	1		1		1	1	2		
事業所		1	1		2		1			1		1	1	1		
学校・PTA		3	2	1	2			2	1							
少年少女・女性消防隊等		0														
市民祭り等		0														
その他		0			2											
延べ参加人員		6,673人														

実質計は、一度に2種類以上の訓練を行っても1回とした実数である。

曜日別実施回数は、2日間に渡り実施した総合防災訓練について、それぞれ1日ずつ回数に含んでいる。

地震対策用街頭消火器設置状況（昭和53年度～平成22年度）

地区別 区分	茅ヶ崎地区	南湖地区	海岸地区	鶴嶺東地区	鶴嶺西地区	湘南地区	松林地区	湘北地区	小和田地区	松浪地区	浜須賀地区	小出地区	合計
自治会数	23	6	13	8	11	9	10	7	5	14	12	17	135
昭和53～平成21年度	352	146	299	338	167	144	253	207	120	264	157	230	2,677
平成22年度	0	0	2	1	0	0	0	2	0	1	2	2	0
合計	352	146	301	339	167	144	253	205	120	263	159	228	2,677

自主防災組織

各連合会地域内自主防災組織（135組織）

茅ヶ崎地区連合会〔23〕

本町第一
本町第二
若松町幸
本町第四
茅ヶ崎グリーンハイツ
パークタウン茅ヶ崎
パークタウン茅ヶ崎第二
元町第一
元町第二
新栄町第一
新栄町第二
共恵中央
共恵東
幸町
十間坂
共恵海岸通り
矢畑南
ニューライフ
茅ヶ崎グランドハイツ
藤和茅ヶ崎ハイツ
藤和ハイツ湘南茅ヶ崎
電源開発茅ヶ崎社宅親睦会
パークスクエア湘南茅ヶ崎

南湖地区連合会〔6〕

茶屋町
鳥井戸
上町
中町
下町
新南湖

海岸地区連合会〔13〕

東海岸北一丁目
東海岸北二丁目
東海岸北三丁目
東海岸北四丁目
東海岸北五丁目
東海岸南一丁目
東海岸南二丁目
東海岸南三丁目
東海岸南四丁目
東海岸南五丁目
東海岸南六丁目
中海岸
パシフィックガーデン茅ヶ崎

鶴嶺東地区連合会〔8〕

田蔵
矢畑
西久保
浜之郷
下町屋
TBS
サニータウン茅ヶ崎
ホームタウン

鶴嶺西地区連合会〔11〕

萩園
新田
今宿
今宿グリーンハイム
コスモ茅ヶ崎プレシオ
萩園サンハイム
ファミリー茅ヶ崎
第一ハイツ茅ヶ崎
ライオンズマンション茅ヶ崎第三
リステージ茅ヶ崎ツインマークス
茅ヶ崎リバーヴェール

湘南地区連合会〔9〕

中島
柳島
松尾
浜見平団地
松風
茅ヶ崎ガーデンハウス
エクシード茅ヶ崎
ベルパーク湘南茅ヶ崎
グランヴァーク茅ヶ崎

松林地区連合会〔10〕

菱沼
室田
上赤羽根
中赤羽根
下赤羽根
高田
ニュータウン茅ヶ崎
ショクサンピラ
プランヴェール湘南茅ヶ崎
オクトス湘南茅ヶ崎

湘北地区連合会〔7〕

甘沼
香川
松風台
鶴が台団地
鶴が台（一）
ライトタウン茅ヶ崎
みずき

平成22年度

小和田地区連合会〔5〕

新宿
本宿
赤松町
赤松
菱沼小和田

松浪地区連合会〔14〕

浜竹一丁目
浜竹二丁目
浜竹三丁目
浜竹四丁目
松浪一丁目
松浪二丁目
富士見町
LG富士見町
常盤町
緑が浜
汐見台
出口町
ひばりが丘
美住町

浜須賀地区連合会〔12〕

三が丘
菱沼南部
菱沼海岸緑
平和町
松浜
浜須賀
浜須賀住宅
翠松会
菱沼海岸
松涛会
松が丘ハイツ
オーベル茅ヶ崎ラチエン通

小出地区連合会〔17〕

堤上
堤下
下寺尾
行谷
芹沢西部
芹沢久組
芹沢中部
芹沢東部
二本松
八王子原
芹沢ひかりが丘
芹沢清水台
湘南ライフタウンB
湘南ライフタウンF
羽根沢第一住宅
やよい会
芹沢細谷紺谷村

自然災害状況
平成22年

月別累計降水量

月	雨量 mm
1	13.5
2	122
3	225.5
4	290.5
5	96
6	121
7	126
8	46
9	353.5
10	208.5
11	78.5
12	187
22年計	1,868.0

平成22年中

50mm以上の降水量を記録した日

月日	雨量 mm
4月28日	155
9月8日	115
9月16日	61.5
9月28日	58
10月30日	62
12月3日	107

(警防課調べ、観測点消防本部)

平成11年～平成22年 年別降水量

年	雨量 mm
11年	1,407.0
12年	1,441.0
13年	1,389.5
14年	1,508.0
15年	1,950.5
16年	1,832.0
17年	1,325.5
18年	1,584.0
19年	1,348.0
20年	1,819.5
21年	1,598.0
22年	1,868.0

MEMO



消 防 団



第 4 7 回神奈川県消防操法大会

MEMO



消防団のあゆみ

- M 2 8 . 3 . - 県令（明治27年5月県令第20号消防組設置）茅ヶ崎村に茅ヶ崎消防組を置き組頭1人、小頭8人、消防手187人を定員として組織する。
- 4 3 . 1 . - 茅ヶ崎町本村他7部落に消防隊が組織される。
- S 1 4 . 4 . 1 勅令により「警防団令」が公布施行され、消防組を「警防団」に改める。
- 2 2 . 5 . - 勅令により「消防団令」が公布施行され、警防団を「消防団」に改める。
29分団、定員1,207人をもって茅ヶ崎町消防団が発足する。
- 7 . 1 中川文次郎氏 初代消防団長に就任
- 1 0 . 1 市制の施行（人口43,315人、戸数9,055戸）
- 2 4 . 5 . 3 1 中川文次郎氏勇退
- 6 . 1 青木耕太郎 2代消防団長に就任
- 3 0 . 1 . 1 0 青木耕太郎氏勇退
- 1 . 1 1 小島芳太郎 3代消防団長に就任
- - 新町分団第5回消防ポンプ操法大会に出場（武藤良策分団長）
- 3 1 . 3 . 1 分団数33（行谷・下寺尾の分離）定数・人員757人
- 3 1 . 香川分団第6回消防ポンプ操法大会に出場（熊沢音吉分団長）
- 3 2 . 下寺尾、下赤分団第7回消防ポンプ操法大会に出場（古知谷善太郎・城田良之分団長）
- 3 3 . 十間坂、芹沢分団第8回消防ポンプ操法大会に出場（石坂圭二・田代忠正分団長）
- 3 4 . 下町屋、小和田分団第9回消防ポンプ操法大会に出場（内藤 興・程島音次分団長）
- 3 5 . 新町、西久保分団第10回消防ポンプ操法大会に出場（小川一已・岩澤博徳分団長）
- 3 6 . 東海岸、甘沼分団第11回消防ポンプ操法大会に出場（竹村光雄・沼上利夫分団長）
- 3 7 . 3 . 7 生川伊佐雄氏 黄綬褒章を受章
十間坂、高田分団第12回消防ポンプ操法大会に出場（長島藤吉・中田一三分団長）
- 3 8 . 3 . 3 1 小島芳太郎氏勇退
- 4 . 1 武藤良策 4代消防団長に就任
今宿分団第13回消防ポンプ操法大会に出場（森 幸司分団長）
- 3 9 . 新町、円蔵分団第14回消防ポンプ操法大会に出場（野崎金平・高橋庄平分団長）
- 4 0 . 室田分団第15回消防ポンプ操法大会に出場（島崎 寛分団長）
- 4 1 . 本村分団第16回消防ポンプ操法大会に出場（石井基陽分団長）
- 4 2 . 十間坂、萩園分団第17回消防ポンプ操法大会に出場（河内真一・

- 小池範之分団長)
- 43 . 菱沼分団第18回消防ポンプ操法大会に出場 (高橋正光分団長)
- 44 . 3 . 3 1 武藤良策氏勇退
- 4 . 1 角田年正 5代消防団長に就任
- 堤分団第19回消防ポンプ操法大会に出場 (岡本良雄分団長)
- 45 . 新町、下町分団第20回消防ポンプ操法大会に出場 (眞壁利夫・青木賢治分団長)
- 46 . 茶島分団第21回消防ポンプ操法大会に出場 (岸 市郎分団長)
- 47 . 堤分団第22回消防ポンプ操法大会に出場 (本間鋭朗分団長)
- 48 . 4 . 1 消防分団の整備統合を計り、33個分団とし、字であった分団名を1～18分団と改める。
- 分団数18、団員定数449人、実員423人
- 第12分団第23回消防ポンプ操法大会に出場 (堤 嘉彰分団長)
- 49 . 7 . 6 (財)神奈川県消防協会茅ヶ崎支部の発足
- 第11分団第24回消防ポンプ操法大会に出場 (山口光男分団長)
- 50 . 第14分団第25回消防ポンプ操法大会に出場 (細井克悦分団長)
- 51 . 4 . 1 分団数20、団員定数399人、実員383人
- (第17, 18分団から第19分団一行谷、下寺尾分団が独立、第2分団から第20分団一東海岸・中海岸が独立)
- 第16分団第26回消防ポンプ操法大会に出場 (沼上 優分団長)
- 52 . 第6分団第27回消防ポンプ操法大会に出場 (小室康夫分団長)
- 8 . 1 0 小型動力ポンプ付積載車を分団に配置 [日本消防協会より寄贈]
- 53 . 第8分団第28回消防ポンプ操法大会に出場 (内藤徳三郎分団長)
- 54 . 4 . 1 分団数21、団員定数399人、実員381人(第7分団から第21分団矢畑が独立)
- 第12分団第29回消防ポンプ操法大会に出場 (青柳一夫分団長)
- 12 . 1 5 分団車両に無線機を設置開始 初年度10基
- 55 . 8 . 第7分団器具置場建設
- 11 . 1 2 互助会の発足
- 第10分団第30回消防操法大会に出場 (森 育雄分団長)
- 56 . 第20分団第31回消防ポンプ操法大会に出場 (田中晴男分団長)
- 7 . 2 9 小型動力ポンプ付積載車を本団に配置 [日本消防協会より寄贈]
- 57 . 第21分団第32回消防ポンプ操法大会に出場 (梅沢初雄分団長)
- 58 . 9 . 第17分団器具置場建設
- 第17分団第33回消防ポンプ操法大会出場 (廣瀬康男分団長)
- 59 . 4 . 2 9 角田年正氏 藍綬褒章を受章
- 第3分団第34回消防ポンプ操法大会に出場 (眞壁育英分団長)
- 61 . 第2分団第35回消防ポンプ操法大会に出場 (野崎重利分団長)
- 12 . 第6分団、第14分団 (上赤) 器具置場建設
- 63 . 2 . 第15分団 (下赤) 器具置場建設

	8 .	第1分団第36回消防ポンプ操法大会に出場（戸井田五郎分団長）
H 元 .	1 .	第5分団（下町）器具置場建設
	2 . 3 .	第16分団（香川）器具置場建設
	7 .	第2分団第37回消防ポンプ操法大会に出場（小川亮一分団長）
	3 . 3 .	第2分団、第10分団（今宿）器具置場建設
	4 . 3 .	第12分団、第19分団（下寺尾）器具置場建設
	3 . 3 1	角田年正氏勇退
	4 . 1	水谷直吉 6代消防団長に就任
	7 . 3 0	第3分団第38回消防ポンプ操法大会に出場（石田忠勝分団長）
5 .	3 .	第3分団（十間坂）・第18分団（芹沢）器具置場建設
6 .	3 . 1 7	第1分団（本村）・第8分団（浜之郷）器具置場建設
	7 . 2 8	第4分団第39回消防操法大会に出場（宮田正分団長）
7 .	3 . 1 2	第21分団（矢畑）器具置場建設
	3 . 2 6	第9分団（萩園）器具置場建設
8 .	3 . 1 5	第8分団（浜之郷）器具置場建設
	7 . 2 5	第5分団第40回消防ポンプ操法大会に出場（中村勝分団長）
9 .	3 . 1 4	第10分団（中島）、第20分団（東海岸・中海岸）器具置場建設
1 0 .	3 . 7	消防庁長官表彰旗授与
	3 . 1 8	第5分団（仲町）、第11分団（松尾）器具置場建設
	7 . 2 9	第6分団第41回消防ポンプ操法大会に出場（南条春雄分団長）
1 1 .	3 . 1 6	第9分団（新田）・第17分団（堤）器具置場建設
1 2 .	3 . 1 7	第15分団（高田）器具置場建設
	7 . 2 6	第7分団第42回消防ポンプ操法大会に出場（鈴木正之分団長）
1 4 .	3 . 3 0	第16分団（甘沼）器具置場建設
	7 . 2 4	第8分団第43回消防ポンプ操法大会に出場（佐野茂分団長）
1 5 .	2 . 2 1	第13分団（菱沼）器具置場建設
	9 . 3	第19分団（行谷）器具置場建設
1 6 .	3 . 3 1	水谷直吉氏勇退
	4 . 1	小澤嘉平 7代消防団長に就任
	7 . 2 8	第9分団 第44回消防ポンプ操法大会に出場（峰尾久徳分団長）
1 8 .	7 . 2 6	第10分団 第45回消防ポンプ操法大会に出場（森毅彦分団長）
1 9 .	2 . 1 8	多機能型車両 第9分団（萩園）に配置（日本消防協会より寄贈）
2 0 .	4 . 1 8	第11分団（柳島）器具置場建設
2 0 .	7 . 3 0	第11分団 第46回消防ポンプ操法大会に出場（内藤智和分団長）
2 2 .	3 . 1 2	第2分団（新町）器具置場建設
	3 . 3 1	小澤嘉平氏勇退
	4 . 1	廣瀬康男 8代消防団長に就任
	4 . 1 1	女性消防分団（第22分団・20人）発足式 定員427人
	7 . 2 7	第12分団 第47回消防ポンプ操法大会に出場（内田和弘分団長）

歴 代 消 防 団 長

初代消防団長	中川文次郎	昭和 2 2 年	7 月	1 日
2 代消防団長	青木耕太郎	昭和 2 4 年	6 月	1 日
3 代消防団長	小島芳太郎	昭和 3 0 年	1 月 1 1 日	
4 代消防団長	武藤 良策	昭和 3 8 年	4 月	1 日
5 代消防団長	角田 年正	昭和 4 4 年	4 月	1 日
6 代消防団長	水谷 直吉	平成 4 年	4 月	1 日
7 代消防団長	小澤 嘉平	平成 1 6 年	4 月	1 日
8 代消防団長	廣瀬 康男	平成 2 2 年	4 月	1 日 (現職)

消 防 団 員 叙 位 ・ 叙 勲 者

受章年月日	氏名	勲等別
昭和 3 8 年 4 月 2 9 日	米 山 清 一 氏	勲六等瑞宝章
昭和 5 9 年 1 1 月 3 日	小 川 一 巳 氏	勲七等青色桐葉章
平成 3 年 1 1 月 3 日	大 関 耕 吉 氏	勲六等単光旭日章
平成 4 年 1 1 月 3 日 (平成 8 年 1 2 月 2 3 日 従六位)	角 田 年 正 氏	勲五等双光旭日章
平成 8 年 1 1 月 3 日	本 間 鋭 朗 氏	勲六等単光旭日章
平成 1 0 年 6 月 6 日	吉 野 博 氏	勲六等単光旭日章
平成 1 6 年 7 月 1 6 日	河 内 真 一 氏	瑞宝単光章
平成 1 7 年 4 月 2 9 日	水 谷 直 吉 氏	瑞宝双光章

平成20年11月 6日 森 育 雄 氏 瑞宝単光章

消防団の概要

団員数とポンプ・車両数

平成23年4月1日現在

区分 分団別管轄区域		合計	団長	副団長	本部分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	専用積載車
合 計		420	1	4	3	22	22	35	70	263	5	27	26
本部		8	1	4	3								
第 1 分 団	本 村	15				1	1	1	2	10		1	1
第 2 分 団	新 町	15				1	1	1	2	10	1		
第 3 分 団	十 間 坂	15				1	1	1	2	10	1		
第 4 分 団	上 町 茶 鳥	20				1	1	2	4	12		2	1
第 5 分 団	仲 町 下 町	22				1	1	2	4	14		2	2
第 6 分 団	円 蔵	15				1	1	1	2	10		1	1
第 7 分 団	西 久 保	15				1	1	1	2	10		1	1
第 8 分 団	下 町 屋 浜 之 郷	19				1	1	2	4	11		2	2
第 9 分 団	萩 園 新 田	20				1	1	2	4	12		2	2
第 10 分 団	中 島 今 宿	20				1	1	2	4	12		2	2
第 11 分 団	柳 島 松 尾	26				1	1	2	4	18		2	2
第 12 分 団	小 和 田	20				1	1	2	4	12	1		
第 13 分 団	菱 沼 室 田	20				1	1	2	4	12		2	2
第 14 分 団	上 赤 中 赤	20				1	1	2	4	12		2	2
第 15 分 団	下 赤 高 田	26				1	1	2	4	18		2	2
第 16 分 団	甘 沼 香 川	23				1	1	2	4	15		2	2
第 17 分 団	堤	15				1	1	1	2	10	1		
第 18 分 団	芹 沢	15				1	1	1	2	10	1		
第 19 分 団	下 寺 尾 行 谷	18				1	1	2	4	10		2	2
第 20 分 団	東 海 岸 中 海 岸	20				1	1	2	4	12		1	1
第 21 分 団	矢 畑	13				1	1	1	2	8		1	1
第 22 分 団	-	20				1	1	1	2	15			

車両別内訳(非常備)

平成23年4月1日現在

配置		種別	シャシメーカー	車両総重量	購入年度	登録番号	定員	備考
分団名	地区名							
第2分団	新町	消防ポンプ自動車	三菱	4,370	H15	湘南800ち2	6	
第3分団	十間坂		三菱	4,350	H13	湘南800さ7611	6	
第12分団	小和田		三菱	4,830	H20	湘南800す5273	6	
第17分団	堤		イスズ	4,280	H10	湘南800さ1263	6	
第18分団	芹沢		三菱	4,850	H20	湘南830て18	6	
第5分団	仲町	小型動力ポンプ付 軽積載車	ダイハツ	1,300	H3	相模80あ412	4	
第9分団	新田		ダイハツ	1,320	H6	湘南80あ7	4	
第14分団	中赤		ダイハツ	1,300	H3	相模80あ413	4	
第19分団	行谷		スバル	1,280	H7	湘南80あ51	4	
第1分団	本村	小型動力ポンプ付 積載車	ニッサン	2,560	H5	相模88せ9970	8	
第4分団	上町		ニッサン	2,560	H6	湘南88さ619	8	
第5分団	下町		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ97	8	
第6分団	円蔵		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1265	8	
第7分団	西久保		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1266	8	
第8分団	浜之郷		ニッサン	2,560	H5	相模88せ9971	8	
	下町屋		ニッサン	2,780	H19	湘南800す4446	8	
第9分団	萩園		イスズ	3,810	H19	湘南800す4536	6	平成19年度日本消防協会より寄贈
第10分団	中島		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2639	8	
	今宿		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ98	8	
第11分団	柳島		ニッサン	2,550	H15	湘南800す619	6	
	松尾		ニッサン	2,760	H19	湘南800す4445	8	
第13分団	室田		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1264	8	
	菱沼		ニッサン	2,860	H20	湘南800す5123	8	
第14分団	上赤		ニッサン	2,560	H5	相模88せ9973	8	
第15分団	下赤		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ99	8	
	高田		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2640	8	
第16分団	香川		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ100	8	
	甘沼		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2641	8	
第19分団	下寺尾		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ101	8	
第20分団	東海岸		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ102	8	
第21分団	矢畑		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ103	8	

分団器具置場所在地

分団名	地区名	所在地
第1分団	本村	本村2 - 6298 - 4
第2分団	新町	新栄町3 - 8
第3分団	十間坂	十間坂3 - 17 - 19
第4分団	上町	南湖3 - 4 - 40
	茶屋町・鳥井戸	南湖1 - 4 - 23
第5分団	仲町	南湖4 - 1 - 18
	下町	南湖5 - 5 - 1
第6分団	円蔵	円蔵2282
第7分団	西久保	西久保465
第8分団	下町屋	下町屋2 - 366 - 3
	浜之郷	浜之郷443
第9分団	萩園	萩園1717 - 2
	新田	新田80
第10分団	中島	中島1134
	今宿	今宿588 - 1
第11分団	柳島	柳島1 - 8 - 11
	松尾	松尾3 - 22
第12分団	小和田	代官町4 - 11
第13分団	菱沼	菱沼2 - 2 - 10
	室田	室田1 - 13
第14分団	上赤羽根	赤羽根2220
	中赤羽根	赤羽根807
第15分団	下赤羽根	赤羽根338
	高田	高田1 - 9 - 38
第16分団	甘沼	甘沼582 - 5
	香川	香川3 - 29 - 4
第17分団	提	提2381 - 1
第18分団	芹沢	芹沢1068
第19分団	下寺尾	下寺尾1213
	行谷	行谷435
第20分団	東海岸・中海岸	東海岸南2 - 3 - 41
第21分団	矢畑	矢畑580 - 9
第22分団	全地区	矢畑1280 - 3

分布図は22ページにあります。

災害出動

平成22年

区分 月別	合計			火災出動			風水害出動		
	件数	分団数	人員	件数	分団数	人員	件数	分団数	人員
合計	25	69	424	23	63	385	2	6	39
1月	2	3	29	2	3	29			
2月	0	0	0						
3月	1	1	13	1	1	13			
4月	1	4	26				1	4	26
5月	5	15	12	5	15	12			
6月	1	2	18	1	2	18			
7月	3	13	130	3	13	130			
8月	3	6	39	3	6	39			
9月	3	12	78	3	12	78			
10月	3	6	39	3	6	39			
11月	1	3	17	1	3	17			
12月	2	4	23	1	2	10	1	2	13

勤続年数

平成23年4月1日現在

階級別 勤続年数	合計	団長	副団長	本部分 分団長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員
合計	420	1	4	3	22	22	35	70	263
5年未満	115				1	1	2	6	105
5年以上～10年未満	98				6	3	10	25	54
10年以上～15年未満	91		1		8	10	13	27	32
15年以上～20年未満	57		1	1	3	5	9	6	32
20年以上～25年未満	34			1	4	2		5	22
25年以上～30年未満	19		1			1	1	1	15
30年以上～35年未満	3			1					2
35年以上	3	1	1						1
平均勤続年数	10.3	41.0	22.2	25.0	12.9	14.0	11.9	10.4	9.2

報酬額

23年度

階級	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	運転手
手当(年額)	72,000	59,000	44,000	42,000	38,500	36,000	33,500	32,000	4,300

費用弁償額

23年度

区 分	支給単位		費用弁償額
	回数	時間	
火災、水害、訓練、警戒等の出場	1回	3時間未満	2,000
		3時間以上	3,600

研修・訓練

平成22年度

回数・人員	科目	合計	新入団員研修	訓練礼式	操法演技訓練	機関担当員研修	操法大会訓練	無線担当員研修	放水訓練	正副分団長研修	津波対策訓練	総合防災訓練	連合防災訓練	情報収集訓練
回数		58	1	1	1		40	1	1	1		1	11	
人員		1,800	46	285	15		700	99	272	51		61	271	

退団者

H22年度

勤続年数	階級	合計	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合 計		18	0	0	0	2	0	2	0	14
5 年 未 満		4								4
5 年 以 上 1 0 年 未 満		3								3
1 0 年 以 上 1 5 年 未 満		5				2		1		2
1 5 年 以 上 2 0 年 未 満		3						1		2
2 0 年 以 上 2 5 年 未 満		1								1
2 5 年 以 上 3 0 年 未 満		1								1
3 0 年 以 上		1								1

年齢

H23.4.1

年齢	階級別	合計	団長	副団長	本部付 分団長	分団長	副分団 長	部長	班長	団員
合計		420	1	4	3	22	22	35	70	263
20才未満		0								
20才以上～25才未満		4								4
25才以上～30才未満		29				1		1	2	25
30才以上～35才未満		62				1	2	2	11	46
35才以上～40才未満		97				4	4	12	23	54
40才以上～45才未満		90				7	6	9	15	53
45才以上～50才未満		86			1	6	7	6	14	52
50才以上～55才未満		28			1	2	3	2	3	17
55才以上～60才未満		16		2	1	1		3	1	8
60才以上		8	1	2					1	4
平均年齢		40.8	71.0	60.2	52.3	43.1	42.9	41.9	40.1	39.8

職業

H23.4.1

勤続年数	階級別	合計	団長	副団長	本部付 分団長	分団長	副分団 長	部長	班長	団員
合計		420	1	4	3	22	22	35	70	263
卸売・小売業		60		2	1	3	6	4	11	33
製造業		70				3	2	3	13	49
建設業		87			1	5	5	5	18	53
農・漁業		37	1	2		3	2	6	3	20
サービス業		85				3	5	10	13	54
公務員		11				1		1	1	8
金融・保険業		9							3	6
運輸・通信業		22				1	1	1	2	17
電気・ガス・水道業		24			1	2	1	4	5	11
不動産業		2								2
その他(求職中)		13				1		1	1	10

団の定数・実員

年度	定数	実員	組織	各年4月1日現在		備考
				人口	世帯数	
昭和24年	1,207	1,182	1団29分団	45,783	9,554	初代団長 中川文次郎 昭和20年1月11日から 昭和24年5月31日まで 4年4カ月
25年	1,207	1,141	〃	47,815	9,901	
26年	1,207	1,141	〃	48,909	10,191	
27年	863	863	〃	49,612	10,634	2代団長 青木耕太郎 昭和24年6月1日から 昭和30年1月10日まで 5年7カ月
28年	863	824	〃	50,674	10,765	
29年	863	824	〃	52,482	11,267	
30年	839	839	1団32分団	56,895	11,849	3代団長 小島芳太郎 昭和30年1月11日から 昭和38年3月31日まで 8年2カ月
31年	757	757	1団33分団	59,034	12,438	
32年	757	757	〃	62,000	13,433	
33年	757	694	〃	62,992	13,767	4代団長 武藤良策 昭和38年4月1日から 昭和44年3月31日まで 6年
34年	685	667	〃	65,149	14,441	
35年	669	589	〃	70,090	15,871	
36年	589	589	〃	71,592	16,594	5代団長 角田年正 昭和44年4月1日から 平成4年3月31日まで 23年
37年	589	515	〃	74,801	17,773	
38年	518	497	〃	78,420	19,436	
39年	518	501	〃	90,130	23,616	6代団長 水谷直吉 平成4年4月1日から 平成16年3月31日まで 12年
40年	518	496	〃	100,078	25,525	
41年	518	502	〃	105,211	27,007	
42年	518	504	〃	111,462	28,671	7代団長 小澤嘉平 平成16年4月1日から 平成22年3月31日まで 6年
43年	518	511	〃	121,946	32,374	
44年	518	506	〃	126,160	34,051	
45年	518	499	〃	130,570	35,820	8代団長 廣瀬 康男 平成22年4月1日から
46年	518	498	〃	135,686	37,775	
47年	518	501	〃	140,063	39,459	
48年	449	423	1団18分団	144,552	41,152	
49年	449	404	〃	148,922	42,751	
50年	399	384	〃	152,024	43,536	
51年	399	383	1団20分団	157,175	45,129	
52年	399	379	〃	162,762	46,900	
53年	399	382	〃	166,141	48,075	
54年	399	381	1団21分団	169,746	49,351	
55年	407	382	〃	172,381	52,357	
56年	407	384	〃	175,727	53,677	
57年	407	384	〃	178,901	55,021	
58年	407	386	〃	179,918	55,572	
59年	407	386	〃	181,476	55,972	
60年	407	388	〃	183,140	57,071	
61年	407	388	〃	186,137	57,937	
62年	407	384	〃	190,264	59,864	
63年	407	387	〃	194,764	63,053	
平成元年	407	385	〃	197,016	63,851	
2年	407	385	〃	200,511	65,880	
3年	407	385	〃	202,553	68,148	
4年	407	386	〃	205,099	69,870	
5年	407	384	〃	207,944	71,627	
6年	407	386	〃	210,282	72,670	
7年	407	395	〃	212,821	74,322	
8年	407	398	〃	212,732	74,335	
9年	407	400	〃	214,727	76,018	
10年	407	402	〃	216,484	77,603	
11年	407	402	〃	217,953	79,068	
12年	407	405	〃	219,828	80,736	
13年	407	403	〃	222,796	84,111	
14年	407	400	〃	222,945	83,056	
15年	407	401	〃	224,847	84,725	
16年	407	402	〃	226,858	86,532	
17年	407	402	〃	228,014	87,785	
18年	407	405	〃	228,342	88,532	
19年	407	403	〃	229,382	89,867	
20年	407	400	〃	231,031	91,258	
21年	407	399	〃	233,240	92,874	
22年	427	417	1団22分団	234,412	93,933	
23年	427	420	1団22分団	235,419	93,869	

防災資器材

大規模災害時等に対応するため、救助、救護資機材(発電照明器具、手工具等)を、消防分団器具置場32か所に配備しています。

配備防災資器材一覧

1	発電機付照明装置	14	金てこ
2	破壊器具	15	防水シート
3	折りたたみリヤカー	16	ワイヤー
4	ジャッキ	17	鉄のこぎり
5	可搬式ウインチ	18	万能はさみ
6	チェンブロック	19	ハンドマイク
7	かけや	20	毛布
8	つるはし	21	カラビナ
9	のこぎり	22	救助ロープ
10	ハンマー	23	災害活動用厨房セット
11	剣先スコップ	24	担架
12	鉄線鋏	25	簡易トイレ
13	バール		

MEMO



火災統計



一般建物火災

MEMO



火 災

用語の意義

この資料の用語は、「火災報告取扱要領」に基づきます。

* 火災の定義 *

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

1 火災件数

「1件の火災」とは、一つの出火点から拡大したもので、出火に始まり鎮火するまでをいう。

2 火災の種別

火災とは、次の種別に区分する。この場合において、火災の種別が2以上複合するときは、焼き損害額の大なるものの種別とする。ただし、その態様により焼き損害額の大なるものの種別によることが社会通念上適当でないと認められるときはこの限りでない。

- (1) 建 物 火 災 建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
- (2) 林 野 火 災 森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
- (3) 車 両 火 災 自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
- (4) 船 舶 火 災 船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
- (5) 航 空 機 火 災 航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
- (6) その他 の 火 災 (1)～(5)までに掲げる火災以外の火災(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災)をいう。

3 爆 発

人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

4 覚知方法

消防機関が火災を覚知した方法をいい次の分類による。

- (1) 火災報知専用番号：NTT加入電話を除く (2) 火災報知専用番号：NTT加入電話
- (3) 火災報知専用番号：携帯電話から (4) 加入電話：固定電話から
- (5) 加入電話：携帯電話から (6) 警察電話 (7) 駆け付け通報 (8) 事後聞知
- (9) その他

5 焼損の程度区分

- (1) 全 焼 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 70 パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- (2) 半 焼 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20 パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- (3) 部分焼 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20 パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- (4) ぼ や 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10 パーセント未満であり焼損床面積が 1 平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10 パーセント未満であり焼損表面積が 1 平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

6 り災世帯数

一般世帯又は施設等の世帯については、国勢調査の例に準じてり災世帯数を算出する。

7 り災人員

- (1) 一般世帯がり災した場合には、当該世帯の全ての人員をり災人員とする。
- (2) 施設等の世帯がり災した場合には、被害を受けた「へや」に居住する人員又は実際に火災損害を受けた人員のみをり災人員とする。

8 火災による死者及び負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者（病死者を除く。）又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げる時までの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者又は負傷者とする。

9 損害額

火災損害とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、り災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

火災損害は、焼き損害、消火損害又は爆発損害に区分する。

- (1) 「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいう。
- (2) 「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいう。
- (3) 「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって受けた前記(1)(2)以外の損害をいう。

1 火災件数

22年中

種別 年別	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
平成20年	60	32	4	7	17
平成21年	58	30	0	10	18
平成22年	47	21	1	4	21
21年との増減	11	9	1	6	3

2 火災損害額

22年中

種別 年別	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
平成20年	87,533	84,582	0	2,338	613
平成21年	197,225	185,410	0	10,874	941
平成22年	82,649	81,493	0	970	186
21年との増減	114,576	103,917	0	9,904	755

(単位:千円)

3 出火原因別件数

22年中

出火原因 年別	1位	2位	3位
平成20年	放火・放火の疑い12	たばこ 8	可燃性ガス 4
平成21年	放火・放火の疑い18	こんろ 6	可燃性ガス 4
平成22年	放火・放火の疑い16	こんろ 6	火遊び 4

4 死傷者数

22年中

死傷者 年別	死者	負傷者
平成20年	1	6
平成21年	2	13
平成22年	1	9
21年との増減	1	4

管区別火災発生状況

平成22年中

	合計	本署管内	小和田管内	小出管内	鶴嶺管内	松林管内	海岸管内
火災件数	47	14	7	1	6	8	11
比率(%)	100	29.8	14.9	2.1	12.8	17.0	23.4

本署管内 14件 (比率:29.8%)

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	14	9	1	4
茅ヶ崎				
茅ヶ崎一丁目	1	1		
茅ヶ崎二丁目	1	1		
茅ヶ崎三丁目	2	2		
元町				
本村一丁目				
本村二丁目	1		1	
本村三丁目				
本村四丁目				
本村五丁目	1	1		
十間坂一丁目				
十間坂二丁目				
十間坂三丁目				
新栄町	1	1		
南湖一丁目	1			1
矢畑	1	1		
円蔵				
円蔵一丁目				
円蔵二丁目				
西久保	2			2
浜之郷	1	1		
下町屋一丁目				
下町屋二丁目				
下町屋三丁目				
香川	1			1
香川一丁目				
香川二丁目				
香川三丁目				
香川四丁目				
香川五丁目				
香川六丁目	1	1		
香川七丁目				
高田五丁目				
室田三丁目				
みずき四丁目				

小和田管内 7件 (比率:14.9%)

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	7	4		3
若松町	1	1		
東海岸北四丁目	1			1
東海岸北五丁目				
東海岸南五丁目	1	1		
東海岸南六丁目				
ひばりが丘				
旭が丘				
松が丘一丁目	1	1		
松が丘二丁目	1	1		
白浜町				
平和町	1			1
浜須賀				
浜竹一丁目				
浜竹二丁目				
浜竹三丁目				
浜竹四丁目				
松浪一丁目				
松浪二丁目				
富士見町	1			1
常盤町				
緑が浜				
汐見台				
菱沼海岸				
出口町				
美住町				

小出管内 1件 (比率:2.1%)

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	1			1
下寺尾				
堤	1			1
行谷				
芹沢				
みずき一丁目				
みずき二丁目				
みずき三丁目				

22年中

鶴嶺管内 6件 (比率:12.8%)

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	6	1	1	4
萩園	2	1		1
平太夫新田				
今宿	2			2
中島	2		1	1

松林管内 8件 (比率:17.0%)

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	8	3	2	3
赤羽根	3	2	1	
甘沼	2		1	1
高田一丁目				
高田二丁目				
高田三丁目				
高田四丁目				
鶴が台	1			1
松風台				
菱沼一丁目				
菱沼二丁目				
菱沼三丁目				
松林一丁目				
松林二丁目				
松林三丁目				
室田一丁目				
室田二丁目				
室田三丁目				
小和田一丁目	1			1
小和田二丁目				
小和田三丁目				
小桜町				
代官町				
本宿町	1	1		
赤松町				
円蔵				

海岸管内 11件 (比率:23.4%)

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	11	4		7
幸町				
東海岸北一丁目	1			1
東海岸北二丁目	1			1
東海岸北三丁目				
東海岸南一丁目	1	1		
東海岸南二丁目	1	1		
東海岸南三丁目				
東海岸南四丁目				
共恵一丁目				
共恵二丁目				
中海岸一丁目	1	1		
中海岸二丁目				
中海岸三丁目	1			1
中海岸四丁目				
南湖二丁目				
南湖三丁目				
南湖四丁目	1			1
南湖五丁目				
南湖六丁目				
南湖七丁目				
松尾				
浜見平	2	1		1
柳島				
柳島一丁目				

平成22年火災件数月別内訳

火災種別 月別	件数	建物	車両	その他	死傷者
合計	47	21	4	22	死者 1 負傷者 9
1月	6	3		3	
2月	1			1	
3月	5	3		2	負傷者 2
4月	5			5	死者 1
5月	8	4	2	2	
6月	3	3			負傷者 2
7月	3	2		1	
8月	3			3	負傷者 1
9月	2	1		1	負傷者 2
10月	4	2	2		
11月	5	2		3	
12月	2	1		1	負傷者 2

初期消火器具使用状況 22年中

	合計		建物火災		車両火災		その他の火災	
		有効		有効		有効		有効
出火件数	47	28	21	11	4	2	22	15
初期消火無	11		5		1		5	
消火器	14	9	7	4	3	2	4	3
水バケツ	5	4	1	1			4	3
水道水等水をかけた	10	10	2	2			8	8
寝具衣類等をかけた	3	2	3	2				
砂・土等をかけた								
その他	4	3	3	2			1	1

火災統計概要（最近 10 年間）

年度 区分		合計	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	
火災 件数	合計	661	75	72	53	76	82	64	74	60	58	47	
	建物火災	349	34	42	31	40	44	36	39	32	30	21	
	林野火災	8					3			4		1	
	車両火災	90	13	10	5	8	11	10	12	7	10	4	
	船舶火災												
	その他の火災	214	28	20	17	28	24	18	23	17	18	21	
	爆発災害件数	4				4							
焼 損 棟 数	合計	470	47	49	44	66	58	43	39	45	54	25	
	火 元 棟	全焼	58	4	3	7	11	11	4	1	5	8	4
		半焼	24	1	2	2	4	3	3	1	5	1	2
		部分焼	90	11	11	4	8	11	13	9	9	7	7
		ぼや	177	18	26	18	18	19	16	28	13	13	8
	延 焼 棟	全焼	21	7	1	4	3	1			2	3	
		半焼	9				6	2			1		
		部分焼	52	2	2	9	10	5	4		2	16	2
		ぼや	39	4	4		6	6	3		8	6	2
	り 災	世帯数	378	37	36	34	56	47	26	32	36	53	21
人員		971	99	100	78	126	108	74	86	102	146	52	
焼 損 面 積 ㎡	建物火災	9,490	779	691	762	2,394	1,078	671	339	793	1345	638	
	林野火災	568					276			232		60	
	雑草火災	4,119	1	62	1100	18	228	680	495	257	1212	66	
死者		26	1	2	3	6	4	3	3	1	2	1	
負傷者		109	10	14	14	17	15	3	8	6	13	9	
損害額(百万円)		1,243	119	130	79	291	138	77	43	87	197	82	

平成22年119番通報受付記録

		NTT一般電話	IP電話	携帯電話	携帯電話転送受け	加入	合計
災害通報	火 災	26	21	52	3	5	107
	救 急	3,907	2,907	2,234	158	194	9,400
	救 助	17	16	16	1	6	56
	水 難	0	0	0	0	9	9
	警 戒	13	15	19	1	6	54
	その他	138	87	169	0	0	394
非災害通報	間違い	235	154	240	0	0	629
	いたずら	54	30	63	0	0	147
	問合せ	349	333	410	0	0	1,092
	訓 練	145	22	2	0	0	169
	試 験	160	13	77	0	0	250
合 計		5,044	3,598	3,282	163	220	12,307

MEMO



救急救助統計



普通救命講習会

MEMO



救 急

「救急活動」

平成２２年中の救急出動件数は、９，３８４件で前年に比べ５９１件の増、搬送人員は８，９９０人で前年に比べ５８５人の増となり、１日当たりの出動件数は約２６件で、これは約６０分に１回の割合で救急車が出動したことになります。

搬送人員を事故種別ごとに見てみると、急病が６，０２８人で全体の６７．１％になり、次いで一般負傷が１，２９７人で全体の１４．４％、交通事故が９６０人で全体の１０．７％の順となっています。

「用語の意義」

火 災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害	暴風雨、豪雨等の自然現象による災害の事故をいう。
水難事故	水泳中の溺者、又は水中転落者等の事故をいう。
交通事故	交通機関相互の衝突等の事故をいう。
労働災害	工場等において、就業中に発生した事故をいう。
運動競技	運動競技を実施している人が、競技実施中に発生した事故をいう。
一般負傷	他に分類されない不慮の事故をいう。
加 害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損行為	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急 病	疾病によるもので救急業務として取り扱ったもの。
そ の 他	転院搬送、医師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの。（正常分娩、酩酊等）

過去５年間の救急出動状況

区分 年別	出動件数	出動件数 １日平均	搬送人員	搬送人 員 １日平均	不搬送	市内収容 件 数 A	市外収容 件 数 B	市外収容率 (%) B / A
平成１８年	8,905	24	8,547	23	444	7,956	505	6.35%
平成１９年	9,085	25	8,698	24	459	8,181	445	5.44%
平成２０年	8,811	24	8,478	23	393	7,951	467	5.87%
平成２１年	8,793	24	8,405	23	468	7,815	510	6.53%
平成２２年	9,384	26	8,990	25	463	8,582	408	4.75%

事故種別・年齢別搬送人員

平成22年中

事故種別 \ 年齢	合計	新生児 生後28日以内	乳幼児 29日～6才	少年 7才～17才	成人 18才～64才	65才以上
合計	8,990	43	481	398	3,168	4,900
火災	9		1		7	1
自然災害						
水難	3				2	1
交通事故	960		30	111	642	177
労働災害	69			1	59	9
運動競技	94		1	53	38	2
一般負傷	1,297		148	78	266	805
加害	65			7	41	17
自損行為	100			2	86	12
急病	6,028	5	276	136	1,907	3,704
その他	365	38	25	10	120	172

傷病程度別・事故種別搬送人員

平成22年中

種別 \ 程度	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	8,990	9		3	960	69	94	1,297	65	100	6,028	365
死亡	129				4			5		14	105	1
重症	353				8	4	1	14	1	3	253	69
中等症	4,274	4		1	269	23	44	516	28	43	3,094	252
軽症	4,231	5		2	679	42	49	762	36	40	2,573	43
その他	3										3	

事故種別・発生場所別搬送人員

平成22年中

事故種別 \ 発生場所	合計	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他
合計	8,990	5,865	1,518	154	1,383	70
急病	6,028	4,918	792	92	206	20
交通	960	13	13	1	930	3
一般負傷	1,297	774	254	10	221	38
その他	705	160	459	51	26	9

月別出動状況

平成22年中

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出動件数	9,384	813	723	727	735	794	741	830	846	767	812	765	831
搬送人員	8,990	780	687	701	712	752	708	782	814	730	781	735	808

曜日別救急出動件数

区分		曜日別件数
合計		9,384
曜日別	日	1,441
	月	1,322
	火	1,317
	水	1,274
	木	1,399
	金	1,238
	土	1,393

救急隊員の行った応急処置件数

応急処置	応急処置件数
合計	25,591
気道確保(うち救急救命処置)	368(106)
静脈路確保	126
薬剤投与	61
除細動	25
止血	125
固定	973
人工呼吸	21
心マッサージ	8
心肺蘇生	179
血圧測定	8,464
被覆	635
在宅療養継続	109
ショックパンプ	0
酸素吸入	1,888
保温	692
その他の応急処置	245
聴診器の使用	641
血中酸素飽和度測定	8,735
心電図	2,296
応急処置対象人員	8,949

市内・市外病(医)院搬送状況(人員)

平成22年中

事故種別	合計	収容率	救急事故種別											
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
病(医)院													転院	その他
合計	8,990	100.0%	9		3	960	69	94	1,297	65	100	6,028	340	25
茅ヶ崎市立病院	3,157	35.1%			1	283	17	44	434	21	27	2,251	69	10
茅ヶ崎徳洲会総合病院	4,401	49.0%	8		2	463	34	36	714	31	55	2,962	86	10
茅ヶ崎中央病院	9	0.1%				1			2			6		
湘南東部総合病院	1,002	11.1%	1			204	14	14	116	12	17	595	26	3
茅ヶ崎休日診療所														
市内その他の病院	13	0.1%				2	1		2			7		1
市外の病院	408	4.5%				7	3		29	1	1	207	159	1

事故種別不搬送理由

H22年中

事故種別 \ 不搬送理由	合計	搬送拒否 (辞退)	到着時死亡(医師 診断含)	酩酊	傷病者 なし	現場 処置	誤報・ いた ずら	その他
合計	463	137	54	22	63	147	20	20
急病	278	92	41	13	17	101	6	8
交通	50	20	2	3	5	16	2	2
一般負傷	29	9	0	3	0	15	1	1
その他	106	16	11	3	41	15	11	9

出場件数 9,384件

不搬送件数 463件

不搬送率 $463 / 9,384 \times 100 = 4.93\%$

救急支援出動状況(消防隊が救急隊を支援するための出動)

平成22年中

出動種別	救急活動支援	ドクターヘリ支援	合 計
出動件数	716(21)	2	718

()内は消防隊がAEDを使用した件数

救助出動

平成22年中

区分 \ 事故種別	合計	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る 事 故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	その他の 事 故
出動件数	60	16	4	0	3	20	0	17
救出人員	34	12	4	0	1	14	0	3

管外の応援出動は含みません。

水難事故出動状況(過去5年間)

区分 \ 年別	合計	18年	19年	20年	21年	22年
管内出動	35	8	6	5	11	5
管外出動	24	6	8	5	1	4
救出人員	24	4	6	3	3	8

救命講習会

普通救命講習会実施状況

	回数	受講人数
平成6年度～平成14年度	225	5,305
平成15年度	41	767
平成16年度	40	786
平成17年度	86	1,742
平成18年度	89	1,836
平成19年度	124	2,549
平成20年度	108	2,396
平成21年度	101	2,040
平成22年度	100	2,175
合計	914	19,596

上級救命講習会・応急手当普及員養成講習会実施状況

	上級救命講習会		応急手当普及員講習会	
	回数	受講人数	回数	受講人数
平成16年度	1	18	1	22
平成17年度	3	56	2	36
平成18年度	3	55	2	44
平成19年度	3	60	3	23
平成20年度	3	45	3	35
平成21年度	4	83	4	53
平成22年度	4	77	3	23

上級救命講習会及び応急手当普及員講習会は平成16年度から実施しています。

A E D (自動体外式除細動器) 設置状況

	公共施設	民間施設
平成16年度	0	2
平成17年度	6	10
平成18年度	19	14
平成19年度	56	20
平成20年度	10	32
平成21年度	0	4
平成22年度	0	4
合計	91(5)	82(4)

()内はA E Dが使用された回数

《市内公共施設》 AED設置施設一覧 (地区別)

平成23年3月31日現在 全91施設

	茅ヶ崎地区	所在地
1	茅ヶ崎市役所本庁舎2階	茅ヶ崎1-1-1
2	茅ヶ崎市役所本庁舎5階	茅ヶ崎1-1-1
3	茅ヶ崎市役所分庁舎6階	茅ヶ崎1-1-1
4	市立梅田小学校	茅ヶ崎1-6-1
5	茅ヶ崎市総合体育館	茅ヶ崎1-9-63
6	茅ヶ崎市民文化会館	茅ヶ崎1-11-1
7	茅ヶ崎市民活動サポートセンター	茅ヶ崎3-2-7
8	茅ヶ崎駅前市民窓口センター	元町1-1
9	茅ヶ崎地区コミュニティセンター	元町10-33
10	女性センター	新栄町12-12
11	勤労市民会館	新栄町13-32
12	老人福祉センター	新栄町13-44
13	新栄町第二自転車駐車場	新栄町13-45
14	幸町自転車駐車場	幸町21-7
15	茅ヶ崎警察署	十間坂1-3-25
16	生きがい会館・シルバー人材センター	十間坂1-4-8
17	青少年会館	十間坂3-5-37
18	茅ヶ崎市体育館	十間坂3-6-5
19	市立梅田中学校	十間坂3-6-25
20	市立茅ヶ崎小学校	共恵1-10-23
21	南湖会館	南湖4-6-1
22	市立西浜小学校	南湖6-5-8
23	南湖公民館	南湖6-15-1
24	市立西浜中学校	南湖6-15-3
25	茅ヶ崎漁業協同組合	南湖6-12988
26	文化資料館	中海岸2-2-18
27	茅ヶ崎市福祉会館	中海岸2-2-42
28	海岸青少年会館	中海岸3-3-10
29	茅ヶ崎公園野球場	中海岸3-3-11
30	茅ヶ崎市美術館	東海岸北1-4-45
31	茅ヶ崎市立図書館	東海岸北1-4-55
32	海岸地区コミュニティセンター	東海岸北5-16-20
33	市立東海岸小学校	東海岸南4-10-1
34	市立第一中学校	東海岸南4-10-1

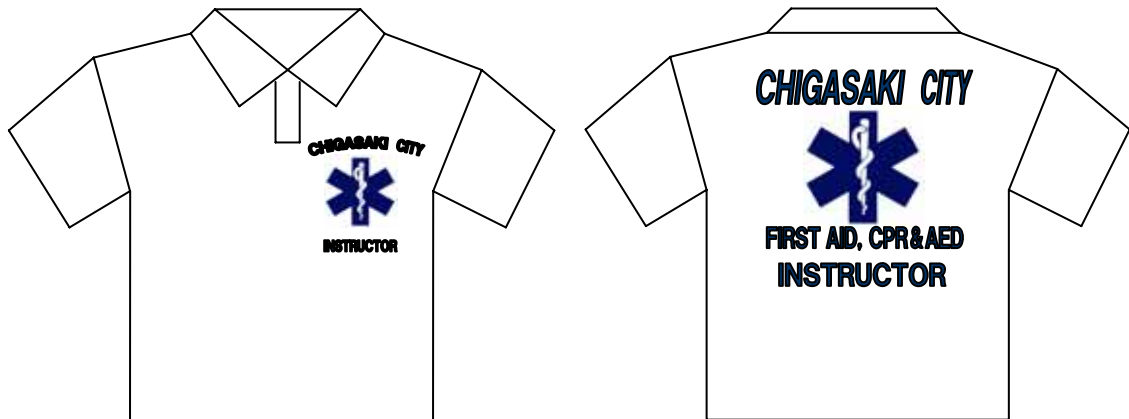
	小出地区	所在地
1	芹沢スポーツ公園	芹沢430-3
2	茅ヶ崎市役所小出支所	芹沢888
3	市立小出小学校	芹沢944
4	茅ヶ崎市斎場	芹沢1700
5	堤スポーツ広場	堤1316
6	老人憩の家 皆楽荘	堤1928-1
7	小出地区コミュニティセンター	堤1948-1
8	市立北陽中学校	下寺尾1660

	松林地区	所在地
1	香川公民館	香川1-11-1
2	市立香川小学校	香川1-33-1
3	香川保育園	香川4-46-1
4	市立赤羽根中学校	赤羽根3030
5	農業ふれあい広場	赤羽根1948
6	市立室田小学校	室田1-1-1
7	松林公民館	室田1-3-2
8	室田保育園	室田1-3-13
9	市立松林中学校	室田3-1-1
10	小和田地区コミュニティセンター	小和田1-22-60
11	市立小和田小学校	小和田3-10-1
12	市立松林小学校	菱沼1-1-1
13	松林ケアセンター	松林3-9-28
14	本宿町自転車駐車場	本宿町11-59
15	小和田市民窓口センター	浜竹3-4-64
16	つつじ学園	松が丘2-8-51
17	市立浜須賀中学校	松が丘2-8-54
18	浜須賀保育園	松が丘2-8-60
19	浜須賀会館	松が丘2-8-63
20	小和田公民館	美住町6-20
21	市立松浪小学校	松浪1-1-61
22	小和田保育園	松浪1-8-4
23	市立松浪中学校	松浪2-6-47
24	市立浜須賀小学校	白浜町3-1
25	市立緑が浜小学校	緑が浜1-1

	鶴嶺地区	所在地
1	茅ヶ崎市屋内温水プール	萩園820
2	環境事業センター（清掃事業所）	萩園836
3	環境事業センター（収集事業所）	萩園1085
4	老人憩の家 萩園いこいの里	萩園1215-4
5	鶴嶺公民館	萩園2028-55
6	市立萩園中学校	萩園2425
7	鶴嶺東コミュニティセンター	西久保180
8	市立円蔵中学校	円蔵1-15-1
9	市立円蔵小学校	円蔵1-13-1
10	市立鶴が台中学校	鶴が台2-7
11	鶴が台保育園	鶴が台10-8
12	市立鶴が台小学校	鶴が台12-1
13	茅ヶ崎市消防本部	矢畑1280-3
14	市立浜之郷小学校	浜之郷90
15	市立鶴嶺小学校	浜之郷477
16	市立鶴嶺中学校	浜之郷500
17	市立今宿小学校	今宿192
18	こどもセンター	今宿444-2
19	市立中島中学校	中島1469-2
20	相模川河畔スポーツ公園	中島1475-2
21	コミュニティセンター湘南	中島1670
22	市立柳島小学校	柳島1594
23	柳島記念館	柳島1900
24	浜見平保育園	浜見平12-1

その他、消防車両9台に積載しています。

茅ヶ崎市応急手当普及協会



平成18年1月19日茅ヶ崎市応急手当普及協会が発足しました。
会員は独自のユニホームを着用し、講習会で指導を行っています。

【発足までの経過】

茅ヶ崎市では平成16年度から応急手当普及員養成講習会を開催して来ました。そして平成16年7月から、一般市民にもAED（自動体外式除細動器）の使用が認められ、救命講習会の受講希望者増加が予想されました。こうした中、普及員資格者同士の情報交換や、講習会などで積極的に活躍ができる環境を整備するため、茅ヶ崎市応急手当普及協会（事務局は消防本部救命課に置く）を発足いたしました。

【会員】

会員は市内の事業所や市民などで構成され、平成23年4月1日現在で152人となりました。
（男性100人、女性52人）

【会長】

初代会長	藤 野 継 基 氏	（元アレセア湘南中学高等学校）	平成18年1月
2代会長	菊 澤 豊 氏	（株式会社 アルバック）	平成20年5月
3代会長	森 田 弘 治 氏	（元東京消防庁職員）	平成23年4月【現職】

【平成22年度の活動内容】

- ・上級救命講習会に指導者として参加協力（講習4回、延べ26人参加）
- ・普通救命講習会に指導者として参加協力（講習100回、延べ481人参加）
- ・応急手当講習会に指導者として参加協力（講習31回、延べ126人参加）
- ・救急の日 { 9月5日（日） } のイベントに参加協力（37人参加）
- ・会員の知識、技術向上のため研修会を15回開催（延べ177人参加）

茅ヶ崎市応急手当普及協会の活動



《消防フェスティバル》

体験コーナーを設置し、心肺蘇生を
レクチャー！

《応急手当普及員講習》

先輩指導員の指導を受け、新しい普及員
が誕生します。



会 長



3代会長 森田 弘治 氏
(元東京消防庁職員)

MEMO



MEMO



茅ヶ崎市消防本部		代表番号 0467-85-4591	
消防総務課 fire_soumu@city.chigasaki.kanagawa.jp		総務担当	0467-85-9940
		企画担当	0467-85-9941
予防課 fire_yobou@city.chigasaki.kanagawa.jp		予防担当	0467-85-9943
		危険物担当	0467-85-9944
警防課 fire_keibou@city.chigasaki.kanagawa.jp		警防担当	0467-85-9945
		整備担当	0467-85-9946
		指令第一担当 指令第二担当	0467-85-4591
救命課 fire_kyuumei@city.chigasaki.kanagawa.jp		救急救助担当	0467-85-9949
FAX		0467-53-1224 0467-85-1112 (通信指令室)	
茅ヶ崎市消防署		代表番号 0467-85-4591	
指導課 fire_shidou@city.chigasaki.kanagawa.jp		管理担当	0467-85-4594
		指導担当	0467-85-4595
		FAX	0467-85-4595
警備第一課 警備第二課		本署	0467-85-4593
		小和田出張所	0467-82-8300
		小出出張所	0467-53-3004
		鶴嶺出張所	0467-85-8811
		松林出張所	0467-52-1230
		海岸出張所	0467-83-3311
災害情報案内 (テレドーム)	0180-99-4591	救急情報案内	0467-85-0119
ホームページアドレス	http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/fire/007445.html		

平成23年版(平成22年度)消防年報 2011年8月発行

編集発行 茅ヶ崎市消防本部

〒253-0085 神奈川県茅ヶ崎市矢畑 1280 番地 3

TEL 0467-85-9940 (ダイヤルイン)

FAX 0467-53-1224

ホームページ: <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/fire/007445.html>

